

1. 基本情報											
事務事業コード	03030302	事務事業名	観光案内所管理運営事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり					担当課	観光課			
施策名	03	観光業の振興					グループ	観光地づくりG			
基本事業名	03	観光客の受入体制充実					電話番号	64-0895			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 ~ ） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ~ ）				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	なし			
	項	01 商工費						なし			
	目	05 施設管理費						なし			
事務の区分	自治事務（法令で義務付けられていない事務）					関連計画	なし				
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）

霧島神宮横にある「霧島市観光案内所」の委託契約を公益社団法人霧島市観光協会と締結している。観光案内所では、地元の特産品販売の他、足湯、駐車場、トイレの管理や観光案内業務を通して霧島市へ訪れた観光客に対しておもてなしをしている。

① 活動指標（事務事業の活動量）	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 営業日	日	362	361	362	362	362
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 観光客	案内人数	人	67,980	64,210	59,300	65,000	65,000
イ 観光客	足湯利用者	人	40,788	38,526	35,580	40,000	40,000
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 満足度を向上させる	苦情件数	件	0	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市で最も多くの方が訪れる霧島神宮大鳥居近くに場所を設ける観光案内所には多くの観光客が訪れる。案内所には事務所の他、トイレ、足湯もあり観光客の休憩所としてもなくてはならない場所であり地元霧島地区の方々にとっても大切な場所である。市民や議会からも否定的な意見はなく、今後も観光地霧島をPRし、観光客をもてなす受け皿として期待される。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		0	5,233	5,410
		事業費	千円	0	0	5,233	5,410

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

観光客が立ち寄り、快適に観光案内を受けられるよう施設内の修繕を行った。  
 【平成25年10月 排煙窓修繕:147,630円】  
 観光客が気軽に観光案内を聞けるよう、スタッフの接客の向上に努めた。

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

施設の素早い修繕等、徹底した維持管理ができた。観光案内所に訪れる多くの観光客に満足していただくような対応ができ、昨年度に引き続き苦情件数が0件であった。





<b>1. 基本情報</b>												
事務事業コード	03030312	事務事業名	妙見路線バス運行事業				担当部	商工観光部				
政策名	03	活力ある産業のまちづくり					担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興					グループ	観光地づくりG				
基本事業名	03	観光客の受入体制充実					電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )					
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	なし				
	項	01 商工費										
	目	04 観光費										
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	観光基本計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 中		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

**2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>**

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

これまで、妙見温泉振興会が運行していた妙見温泉バスを新幹線全線開業に伴い、二次交通アクセス網の拡充を図るため平成23年3月12日から市内民間バスの運行しているいわさきバスネットワークに委託して運行している。  
 このことで、市内を走るいわさきバスを利用できる観光客にお得な一日乗車券の発行ができた。  
 【委託先】いわさきバスネットワーク(株)  
 【バス停】隼人駅→鹿児島神宮→妙見温泉→嘉例川駅→鹿児島空港  
 【料金】 (130円) (330円) (510円) (630円)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 延べ運行便数	便	4,026	4,015	4,015	4,015	4,015
イ 運行日数	日	365	365	365	365	365
ウ						

**(2) 事務事業の目的**

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 空港等を利用する観光客	空港利用者数	万人	446	478	500	455	455
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 2次交通アクセスを確保できる	妙見路線バス利用者数	人	6,360	5,469	6,374	7,500	8,000
イ							
ウ							

**(3) 上位の基本事業**

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等** (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成14年度より鹿児島空港、隼人駅、嘉例川駅からの交通アクセスがなく、観光客が不便であったために開始された。これまで、妙見温泉振興会の妙見温泉バスを運行していたが、新幹線全線開業に伴い、二次交通アクセス網の確立のため市の意向により、市の委託事業として、いわさきバスによる運行している。このことで、市内のいわさきバスを利用する一日乗車券の発行ができた。利用者や旅館等の組合等より停留所を増やしてほしいという意見がある。

**4. 事業費の推移**

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	
		県支出金	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		その他	千円		0	0	0	
		一般財源	千円		11,703	11,493	12,091	12,361
		事業費	千円	0	11,703	11,493	12,091	12,361

**5. 平成25年度の実績及び成果**

**(1) 平成25年度の実績(取組)** <取組内容を数値等により具体的に記載> **(2) 平成25年度の成果** <左記の実績(取組)による成果を記載>

5月1日より嘉例川駅バス停を利用者の利便性の向上のため、同駅駐車場から同駅構内に変更した。	運賃収入が増額した。 (24年度:1,913,767円→25年度:2,267,056円)
---	---

事務事業 コード	03030312	事務 事業名	妙見路線バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	空港等を利用する観光客の2次交通アクセスを確保することで、来訪者をもてなす受け皿ができる。	
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	乗車人員が上がれば運賃収入額も増え、財政健全化も図られる。しかしながら、今後も利用客のニーズに合うような対策を講ずる必要もあり、新たな路線の新設など成果の向上余地はある。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		空港や嘉例川駅から妙見への移動手段がなくなり、来訪者の利便性が図られない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		類似事業がある場合 コミュニティーバス運営事業、霧島連山周遊バス運行事業 対象・意図が違うので統合できない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	利用者のニーズに合わせて、運行計画の変更等を行うことで、運賃収入が増え、事業費の削減が図られる。	
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	委託料の交付事務のみであるので削減の余地はない。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	バス利用者からは乗車賃を徴収しており、公平公正である。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○		○				
(2) 平成26年度の改革改善の内容	霧島市単独の委託契約事業であるので、近隣市町も含めた広域的な運行業務も視野に入れ、路線の拡大や旅行エージェントと連携すれば、コストの低減が期待できる。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	より効果的な観光バスの運行を検討するために、本路線バスやその他の2次アクセスの実態等の調査を検討している。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									



1. 基本情報										
事務事業コード	03030307	事務事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業				担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり	担当課	観光課						
施策名	03	観光業の振興	グループ	観光PRG						
基本事業名	03	観光客の受入体制充実	電話番号	45-5111						
			内線番号	2611						
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )			
	款	07 商工費								
	項	01 商工費								
	目	04 観光費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画				
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島温泉旅館協会とは、温泉地の観光客誘致を目的として設立した団体。(牧園 丸尾地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。)(市の活動)  
 霧島温泉地区を訪れた観光客の受入のため、夏の観光宣伝、霧島国際音楽祭にあわせロビーコンサートの実施など霧島温泉旅館協会が行っている事業に対し入湯税の還元として補助金を支給している。  
 補助金申請受付→補助金確定通知→補助金請求→補助金交付  
 (団体の活動)  
 霧島温泉地区に誘客を行うために各種宣伝活動(九面太鼓演奏、チラシ配布等)、イベント活動(きりしま郷土芸能の夕べ等)を実施した。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 誘客対策事業(自主事業等)の実施回数	回	11	11	11	11	11
イ 誘客対策事業(チラシ等作成)の実施回数	回	1	1	2	1	11
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	6,733,375	7,367,062	7,715,418	7,803,000	7,959,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 霧島を観光してもらおう	事業の実施件数	件	37	37	26	28	30
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島温泉地区を訪れる観光客の受け入れ体制の強化を目的に昭和40年代から開始された。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	
		県支出金	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		その他	千円		0	0	0	
		一般財源	千円		1,710	1,439	1,630	1,638
		事業費	千円	0	1,710	1,439	1,630	1,638

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

- 霧島温泉旅館協会ロビーコンサート 4回
- 広告宣伝事業(パンフレット作成)2種類
- 協会設立50周年スタンプラリー
- 霧島温泉感謝祭り
- きりしま郷土芸能の夕べ 9回

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

市内4施設においてロビーコンサートを実施し、230名の来場者があり、観光客へのおもてなしを行った。また、作成したパンフレットを活用し、アウトドアショップセールス等の観光宣伝を行い、本市への観光客誘致を行った。その他、郷土芸能の夕べや、温泉感謝祭り等の自主事業を展開し、霧島を訪れる観光客へのおもてなしを行った。

事務事業 コード	03030307	事務 事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 結びついていない	霧島温泉旅館協会に対する運営補助金は、観光宣伝等の観光客誘致宣伝活動を実施することで丸尾地区をより知ってもらい、霧島市へ訪れてもらうことを目的としているため、現在の基本事業の意図とは結びついていない。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、来訪者をもてなす受け皿をつくるため、観光関連事業者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるためである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 日当山温泉旅館組合 他 観光協会や各旅館協会等と連携した事業を既に行っている。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入湯税の配分率に応じた補助事業であり、市の負担は削減できない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	旅館協会は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○			○			
(2) 平成26年度の改革改善の内容	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	観光関係団体と連携を行い、事業推進における相互協力や、実施事業の合理化を検討する。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									





1. 基本情報												
事務事業コード	03030308	事務事業名	霧島神宮温泉郷旅館協会運営支援事業				担当部	商工観光部				
政策名	03	活ある産業のまちづくり					担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興					グループ	観光PRG				
基本事業名	03	観光客の受入体制充実					電話番号	45-5111				
							内線番号	2611				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )					
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規程 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱				
	項	01 商工費										
	目	04 観光費										
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画						
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価		評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島神宮温泉温泉旅館協会の運営費補助として補助金を交付している。  
 (市の活動)霧島神宮温泉温泉旅館協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。  
 (各旅館協会の活動)霧島神宮温泉地区を訪れた観光客の受入れのための事業を行う。(パンフレット作成、クーポンの発券等)※霧島神宮温泉温泉旅館協会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。霧島神宮周辺の宿泊施設を会員として運営されている団体である。  
 (団体の活動)  
 霧島神宮温泉地区への誘客を行うため、宣伝事業としてパンフレット、温泉クーポンを作成した。また、イベント事業としてグランドゴルフ大会等を実施した。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 誘客対策事業(自主事業等)の実施回数	回	11	11	11	11	11
イ 誘客対策事業(チラシ等作成)の実施回数	回	1	1	1	1	1
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 霧島市を訪れた観光客	観光客数	人	6,733,375	7,367,062	7,715,418	7,803,000	7,959,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 霧島を観光してもらおう	事業の実施件数	件	12	12	12	13	14
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和25年には国立公園観光協会ができており、下部組織として旅館協会が存在していた。霧島神宮周辺の観光振興を図ることを目的にこの事務事業開始された。	4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
	投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
			県支出金	千円		0	0	0	0
			地方債	千円		0	0	0	0
			その他	千円		0	0	0	0
			一般財源	千円		602	450	533	568
			事業費	千円		0	602	450	533

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

<ul style="list-style-type: none"> <li>霧島山合同バトロール(6月30日)</li> <li>霧島神宮献灯祭(8月5日)</li> <li>ふるさと霧島夏祭(8月10日)</li> <li>天孫降臨霧島祭(8月24日)</li> <li>霧島市観光宣伝(9月20日)</li> <li>霧島温泉感謝祭(1月26日)</li> <li>国道223号線清掃(2月23日)</li> <li>龍馬ハネムーンウォーク(3月15日)</li> </ul>	ふるさと霧島夏祭や、天孫降臨霧島祭、温泉感謝祭において、来場者のおもてなしを行った。また、合同で制作したパンフレットを用いて、アウトドアショップセールスや、各種イベント等での観光宣伝を行い、霧島市への観光客誘致を行った。
---	--





1. 基本情報											
事務事業コード	03030304	事務事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興				グループ	観光PRG				
基本事業名	03	観光客の受入体制充実				電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等				
	項	01 商工費									
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画	霧島市観光基本計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

日当山温泉旅館組合とは、日当山地区への観光客誘致を目的として設立した団体。日当山地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である(市の活動)  
 日当山地区を訪れた観光客の受入のため、日当山温泉旅館協会が行っている観光誘致宣伝活動などの事業に対し入湯税の還元として補助金を支給している。  
 補助金申請受付→補助金確定通知→補助金請求→補助金交付

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
----------------------	-------------------------	----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

ア 霧島市を訪れた観光客	観光客数	人	6,733,375	7,367,062	7,715,418	7,803,000	7,959,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
--------------------	-------------------------	----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

ア 日当山地区を知ってもらふ。	誘致のための宣伝活動回数	件	4	4	4	5	6
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
------------------------------	------------------------------	----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

日当山地区を訪れる観光客の受け入れ体制の強化を目的に開始された。特になし	4. 事業費の推移						
	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	千円		0	0	0	0
	財源内訳	千円		0	0	0	0
	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		230	243	245	246
	事業費	千円	0	230	243	245	246

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

ホームページ作成による宣伝活動  
 日当山夏祭りや日当山秋の収穫祭と連携した誘客活動  
 リーフレットの作成(5,000部)  
 オリジナルタオルの製作(500個)  
 日当山地区清掃活動(日当山駅2回・西郷どんの宿周辺1回)

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

鮎祭りは荒天のため中止となったが、日当山夏祭りや秋の収穫祭は予定通り実施し、地域の活性化が図れた。  
 また、夏祭りではオリジナルタオルを作成・販売し、日当山温泉の知名度向上に努めることができた。  
 新たに、日当山温泉リーフレットを作成し、効率的な情報発信を行うことができた。

事務事業 コード	03030304	事務 事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 結びついていない	日当山温泉旅館組合に対する運営補助金は、観光宣伝等の観光客誘致宣伝活動を実施することで日当山をより知ってもらい、霧島市へ訪れてもらうことを目的としているため、現在の基本事業の意図とは結びついていない。 次年度、基本事業の見直し実施予定。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、来訪者をもてなす受け皿をつくるため、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 霧島温泉旅館協会運営支援事業等、他旅館協会への補助事業 観光協会や各旅館協会等と連携した事業を既に行っている。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入湯税の配分率に応じた補助事業であり、市の負担は削減できない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	日当山旅館組合は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○				○			
(2) 平成26年度の改革改善の内容	鮎祭りや日当山夏祭り、秋の収穫祭等のイベントを行い、観光客誘致と地域活性化、日当山地区の情報発信を行う。ホームページやリーフレットを活用した観光宣伝等を行い、日当山地区の知名度向上に努める。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

事務事業 コード	03030304	事務 事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

### 9. コストの推移

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食料費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	243	245	246
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		243	245	246
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	243	245	246
計		243	245	246
補助率	国			
	県			
補助基本額				

#### 平成25年度補正・流用状況

当初予算	243
補正予算	0
補正回数 1回	
補正回数 2回	
補正回数 3回	
補正回数 4回	
補正回数 5回	
補正回数 6回	
補正回数 7回	
補正回数 8回	
流用・充用	
予算合計	243

#### 特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

1. 基本情報											
事務事業コード	03030305	事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり					担当課	観光課			
施策名	03	観光業の振興					グループ	観光PRG			
基本事業名	03	観光客の受入体制充実					電話番号	45-5111			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱			
	項	01 商工費									
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

新川渓谷温泉郷の中にある妙見温泉振興会、安楽温泉振興会の運営・宣伝事業に対し入湯税の還元として補助金を交付している。(市の活動)妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。補助金申請受付→補助金確定通知→補助金請求→補助金交付  
(各団体の活動)妙見・安楽地区を訪れた観光客の受入のための事業を行う。(モミジ植栽、サイン整備、街路灯の管理)\*妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。妙見・安楽地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	2	2	2	2	2
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	6,733,375	7,367,062	7,715,418	7,803,000	7,959,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安楽地区を知ってもらう	誘客のための宣伝活動回数	件	4	4	5	5	6
イ 妙見地区を知ってもらう	誘客のための宣伝活動回数	件	5	4	5	5	6
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
昭和40年代より、妙見・安楽地区の観光振興を図ることを目的に開始された。特に変化なし。特になし。特になし。		事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0	
				県支出金	千円		0	0	0	
				地方債	千円		0	0	0	
				その他	千円		0	0	0	
				一般財源	千円		207	182	188	190
				事業費	千円		0	207	182	188

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

<p>【安楽温泉振興会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内リーフレットの作成(6,000部)</li> <li>・藤まつりの開催協力</li> <li>・温泉神社祭り</li> </ul> <p>【妙見温泉振興会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを活用した宣伝活動(HP運営)</li> <li>・九州オルレ 霧島妙見コース管理</li> <li>・藤まつりの開催協力</li> <li>・日本温泉地域学会での観光宣伝活動(2回)</li> </ul>	<p>各振興会での宣伝事業等に加え、「いざ霧島キャンペーン実行委員会」等、他の観光関係団体とも連携した宣伝活動を行うことで、より効果的な宣伝活動が実施できた。また、九州オルレ「霧島・妙見コース」の認定により、韓国からの観光客が訪れている。</p>
--	---



事務事業コード	03030305	事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 結びついていない	妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会に対する運営・宣伝補助金は、観光宣伝等の観光客誘致宣伝活動を実施することで妙見安楽地区をより知ってもらい、霧島市へ訪れてもらうことを目的としているため、現在の基本事業の意図とは結びついていない。 来年度、基本事業見直し実施予定。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、来訪者をもてなす受け皿をつくるため、観光関連事業者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるため、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 霧島温泉旅館協会運営支援事業等、他旅館協会への補助事業 観光協会や各旅館協会等と連携した事業を既に行っている。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入湯税の配分率に応じた補助事業であり、市の負担は削減できない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○				○			
(2) 平成26年度の改革改善の内容	藤まつりや温泉神社まつり等のイベントを行い、観光客誘致と地域活性化、妙見・安楽地区の情報発信を行う。ホームページやリーフレットを活用した観光宣伝等を行い、妙見・安楽地区の知名度向上に努める。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									



1. 基本情報												
事務事業コード	03030202	事務事業名	森林セラピー推進事業				担当部	商工観光部				
政策名	03	活力ある産業のまちづくり					担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興					グループ	観光地づくりG				
基本事業名	02	地域の特色を活かした観光資源の開発					電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )					
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	なし				
	項	01 商工費						関連計画	なし			
	目	04 観光費							事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)		
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国土緑化推進機構が提唱する「森林セラピープロジェクト」は、森が持つ癒し効果を科学的に解明し、森で過ごすことによって日頃のストレスを解消し、健康な日常生活を送ることが目的である。全国で霧島市を含む57の団体が森林セラピー基地及びセラピーロードに認定(霧島市は平成19年3月認定)されており、認定基地及び認定ロードではその地域独自のセラピーメニューを考案して観光振興や地域振興に活用することができる。  
 <関連計画> 観光基本計画  
 【森林セラピーロード】柳ヶ平、丸尾自然探勝路、手洗散策路

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 体験イベントの回数	回	1	1	2	2	2
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 観光客(イベント参加者)	イベント参加者数	人	72	55	106	100	100
イ 指導者(森林セラピーガイド)	セラピーガイド会員数	人	0	0	7	10	14
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 癒される	イベント満足度	%	※	※	98	100	100
イ ガイドを要請する	要請回数	回	※	※	3	5	5
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 観光に活用できる資源が開発される	開発された観光素材の数	本	24	29	35	35	40
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		1,653	1,196	1,273	1,733
		事業費	千円	0	1,653	1,196	1,273	1,733

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

森林セラピーイベントの開催(7月、11月) 県外イベントでの周知及び誘致(3回) パンフレットの作製(10,000部)	平成25年度は5月と11月にセラピーイベントを実施したが、イベント参加者の98%の方からよい評価をいただいた。また、新たに製作したパンフレットにあらたにセラピーガイドを掲載をしたこともあり、セラピーガイドへのガイド申請も増えた。
---	--





1. 基本情報											
事務事業コード	03030103	事務事業名	観光宣伝事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興				グループ	観光G				
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開				電話番号	45-5111				
						内線番号	2611				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等				
	項	01 商工費									
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本市へ観光客を誘致することを目的に、各種観光宣伝を実施する。  
 (主な活動内容)  
 ・効果的なイベント等への参加、マスコミ等表敬訪問の実施  
 ・本市観光の魅力を伝えるための観光パンフレットやポスターの製作、発送  
 (主な活動場所)  
 首都圏、関西圏、東海地方、中国地方、北部九州地区  
 【平成25年度宣伝実施実績】  
 開空旅博(大阪)、霧島温泉旅館協会宮崎キャンペーン(宮崎)、JR九州ゆ活フェス(福岡)、関西かごしまファンデー(大阪)、霧島海津合同物産展(岐阜)、宮崎駅開業100周年記念イベント(宮崎)、福岡モーターショー(福岡)、福岡ランチミーティング(福岡)、鹿児島観光プロモーション(福岡)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 実施回数	回	49	27	23	25	26
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 国民	日本の人口	千人	127,799	127,515	127,298	***	126,597
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 各種イベント・観光宣伝で霧島市を知ることができる。	宣伝日数(延べ)	日	97	87	40	60	60
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう。	国内からの宿泊観光客数	人	861,060	966,141	947,019	997,000	1,017,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)  
 市町村合併に伴い、新市の魅力を広く県内外にPRし、観光客誘致を行うため実施している。新燃岳の噴火や東日本大震災、長引く景気の低迷等の影響を受け、観光客の減少がみられるが、それに伴い県、各種団体と連携した広域的な観光宣伝が行われるようになった。  
 九州新幹線全線開業効果や格安航空機(LCC)を生かすための宣伝事業を、関東、関西、東海、中国地方で行ってきた。今後も明確なターゲット設定とキャラクターや各種メディアを活用した観光宣伝の取組を進める。

4. 事業費の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
		国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			2,180	9,680	3,788
	事業費	千円		0	2,180	9,680	3,788	14,684

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

平成25年度においては、メディア等への露出が伴う効果的な観光イベントへの参加や旅行会社等へ本市観光素材のセールス(売込み)を実施した。なお、本市が加盟している広域団体の総会や研修会への出席、環霧島会議が主催するおもてなしツアーの対応なども行った。  
 また、観光パンフレット・ポスターの作成を行い、多言語化(5か国語対応)対応の媒体と本市の魅力が詳細にわかる媒体の2種類を作成した。

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

メディア等への露出やイベント参加により、魅力的な観光地としての「霧島市」の知名度向上やイメージがアップし、主に個人・小グループで本市を訪れる宿泊観光客の増加に繋がった。  
 また、旅行会社へのセールス活動により、本市の新しい観光素材や切り口(見せ方)を把握して頂き、既存の旅行商品の追加・充実、新しいツアー旅行の造成・販売に繋がった。  
 観光パンフレット・ポスターの作成により、本市の観光情報を希望する方に届けることができ、誘客拡大に貢献した。







1. 基本情報											
事務事業コード	03030403	事務事業名	外国人観光客誘致促進事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興				グループ	観光PRG				
基本事業名	04	海外からの観光客の誘致				電話番号	45-5111				
						内線番号	2611				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 23 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等				
	項	01 商工費									
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

海外誘客と航空機利用促進を図るため、鹿児島県や鹿児島県観光連盟、市内観光関係団体、宿泊施設と連携し、外国人観光客の誘客促進活動を行う。

【誘客事業】

- ・アジアを中心とした現地セールス、旅行説明の実施
- ・航空機を利用し、市内に宿泊する海外からの旅行者を対象に、市内宿泊施設を通じてノベルティ(特産品)の配布を行う。

【受入体制】

ツアー商品等造成のための旅行エージェンツ(旅行会社)との商談会による情報提供、現地視察案内、ツアー企画の協力支援。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 海外誘致セールス回数	件	1	1	2	2	3
イ 海外旅行エージェンツへの説明会(参加・実施)	件	1	4	5	6	7
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 外国人 (定期航空路線就航地を主とする)	鹿児島空港国際線定期便就航路線	人	3	3	4	4	4
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 霧島市の情報が提供される	海外誘致セールス回数	件	1	1	2	2	3
イ 霧島市の情報が提供される	海外旅行エージェンツへの説明会(参加・実施)	件	1	4	5	6	7
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつつか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう	外国人宿泊観光客数	人	37,147	52,459	75,335	85,000	95,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国内観光客の需要が減少する中で、海外からの観光客誘客が今後の観光振興、経済浮揚の重要な施策となるとして、国の施策や観光動向分析結果などをもとに平成23年度から実施した。新燃岳噴火や口蹄疫の影響により、激減していた海外観光客が、中国経済の発展・台北線就航等により、アジアからの観光客を中心に徐々に増加している。

国内各地で外国人誘客事業に取り組んでいる。宿泊施設から市の主体的な取り組みによる海外観光客誘客事業の実施を要望。

海外観光客へのおもてなし(ノベルティ) 議会から、空港所在地として、航空機利用対策にも取り組むべきである。との声がある。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	
		県支出金	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		その他	千円		0	0	0	
		一般財源	千円		4,773	4,823	5,235	5,235
		事業費	千円	0	4,773	4,823	5,235	5,235

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

・鹿児島県や鹿児島県観光連盟、民間企業と連携した海外セールスの実施(2回:韓国・台湾)

・鹿児島空港利用促進ウェルカム霧島おもてなし事業の実施

※鹿児島空港を利用して霧島市内に宿泊した外国人観光客を対象としたノベルティ(関平鉱泉水500mlペットボトル、黒酢キャンディー)の配布

実績→平成24年度:20,528件 平成25年度:24,702件

・旅行エージェンツとの商談会による情報提供

・海外雑誌記者等の現地視察案内・ツアー企画の協力支援

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

鹿児島県や鹿児島県観光連盟、民間企業と連携して海外セールスや海外旅行エージェンツへの商談会等を行い、霧島市の観光情報発信を行うことで、霧島市の知名度向上に努めた。

また、ウェルカム霧島おもてなし事業によるお客様満足度の向上に努めた。

事務事業コード	03030403	事務事業名	外国人観光客誘致促進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	鹿児島空港に定期航空路線を持つ地域を中心として、霧島市の観光情報を発信することは、霧島市での外国人観光客増加に結び付けている。
	② この事業をなせば市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	外国人宿泊者が増加し交流人口が増加することは、地域活性化の一助となり、市の税収増加につながるため、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	鹿児島空港を利用して霧島市内へ宿泊する外国人観光客が増加すれば、おもてなし事業によるノベルティ配布回数も増える。来訪者の満足度を上げることで、霧島市へのリピーターを増やす。 また、旅行エージェン特商談会については、国や県、周辺市町村と連携した事業を行うことで、旅行エージェン特への商談会の機会を増やすことが出来る。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	海外からの観光客が霧島市を選択する機会が少なくなり、宿泊者数の減少により観光業界の収入が減少する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 YOKOSO! KAGOSHIMA事業 ビジットジャパン地方連携事業 等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在実施しているウェルカム霧島事業(鹿児島空港を利用する外国人宿泊客への特産品プレゼント事業)を見直すことで事業費の削減につながるが、外国人誘客は市の重要な観光施策となっており、知名度向上への対策や案内板、インターネット環境などの受け入れ態勢充実など更なる事業費の拡大が求められている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員の事務としては情報提供、物品契約・提供など必要最低限であり、削減できない。 旅行エージェン特的視察、商談会等については、既に関係機関の協力をいただいており、委託業務とすると更なる事業費の拡大につながる。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	一部の事業者等を対象としているものではない。 ノベルティ(特産品)の配布については、鹿児島空港利用者で、市内に宿泊している全外国人旅行者を対象に配布しているため受益機会公平である。外国人旅行者へ負担を求めるものでもない。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○			○			
(2) 平成26年度の改革改善の内容	霧島市の観光地としての知名度を高めるため、国県や周辺市町、市内宿泊施設や観光施設と連携して国内外でのセールスを中心とした情報発信活動を行う。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	既存の定期路線の存続、新規就航による外国人観光客への対策として、インバウンド事業を霧島の観光施策の重要課題として、予算化と共に今後の事業展開を具体的に検討すべきである。 外国人観光客の受入整備として、外国語表記による案内板の設置や公衆Wi-Fi環境の整備にも取り組んでいく。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									



1. 基本情報										
事務事業コード	03020301	事務事業名	特産品協会運営支援事業				担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課			
施策名	02	商工業の振興				グループ	観光PRG			
基本事業名	03	霧島産物・技術を活かした製品(商品)開発の促進				電話番号	45-5111			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 10 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )			
	款	07 商工費					根拠法令・条例等			
	項	01 商工費								
	目	04 観光費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画				
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 中		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内に存在する2団体への運営費補助として補助金を交付しているが、平成21年度に二つの団体が合併して一つの団体となった。  
 (市の活動):各特産品協会に補助金を支出するための手続き(申請書等の受付から補助金の交付など)を行い、特産品の開発、宣伝の推進を図る。  
 (特産品協会の活動):地域の特産品の開発及び販売経路の拡充。市内事業者81団体が加入。  
 地場産業の一翼を担うため、会員間の相互理解と連携を強め、霧島ブランドにふさわしい特産品のPRや、国内外への販路開拓、また、観光とリンクした特産品産業の振興を通じて、地域経済の活性化を促進するため、関係各所との連携を図り、各事業に取り組んでいる。  
 ①物産展出店推進(県内外各種出展事業、イベント等出展事業)  
 ②霧島ブランド化策定(きりしまブランド策定事業、地産地消推進事業、霧島オリジナル商品開発事業、特産品調査研究事業)  
 ③広報拡大(PR広報渉外事業、会員拡大の推進) ④その他 各実行委員会への参加

① 活動指標(事務事業の活動量)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(見込)
ア 特産品協会が開発した特産品の数(述べ)	個	2	2	5	5	5
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(見込)
ア 特産品協会会員	会員数	人	85	83	81	82	83
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)
ア 新たな特産品を開発させる	開発された特産品の数	個	2	2	5	5	6
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)
ア 競争力を強化する	新たに開発された特産品	個	1	1	3	1	1
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

特に無し。

4. 事業費の推移

		単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	27年度(計画)
事業費	財源内訳	千円		0	0	0	0
	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
投入量	一般財源	千円		1,154	1,154	1,154	1,154
	事業費	千円	0	1,154	1,154	1,154	1,154

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

事務局であるきりしまミクスが中心となり、地域の特産品の開発及び販売経路の拡充と霧島ブランドの確立、会員数の増加を図った。

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

会員がそれぞれ、競争心を持ちながら、霧島ブランドの底上げをしたり、品質保持に努めてもらった。また、協会を通じて、各イベントへも積極的に参加してもらった。



事務事業 コード	03020301	事務 事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

### 9. コストの推移

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食料費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	1,154	1,154	1,154
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		1,154	1,154	1,154
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	1,154	1,154	1,154
	計		1,154	1,154
補助率	国			
	県			
補助基本額				

#### 平成25年度補正・流用状況

当初予算	1,158
補正予算	0
補正回数 1回	
補正回数 2回	
補正回数 3回	
補正回数 4回	
補正回数 5回	
補正回数 6回	
補正回数 7回	
補正回数 8回	
流用・充用	
予算合計	1,158

#### 特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

1. 基本情報											
事務事業コード	07010101	事務事業名	関平鉱泉販売・管理運営事業				担当部	商工観光部			
政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり				担当課	観光課				
施策名	01	健全な財政運営の推進				グループ	関平鉱泉販売所				
基本事業名	01	歳入の確保				電話番号	78-2950				
予算科目目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 58 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )				
	款	02 総務費					根拠法令・条例等	高島市関平温泉・高島市関平鉱泉販売所の設置及び管理に関する条例 高島市関平温泉・高島市関平鉱泉販売所の設置及び管理に関する未開施行規則			
	項	01 総務管理費									
	目	17 関平温泉施設費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画						
事務種別	一般事務				裁量区分	裁量性強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>									
(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)									
関平鉱泉販売所は、昭和58年に、市民及び一般来訪者の保養と福祉、併せて市民生活の向上・収入の確保を目的に設置され、鉱泉水の製造・販売を行っている。本事業では、販売所の施設管理及び鉱泉水の販売促進のため、宣伝・広報活動やクレームへの適切な対応を行うものである。 【鉱泉水】20L(1,000円)・10L(600円)・10L2箱入(1,200円)・ペットボトル2L・500ml他 【主な販売促進手法】 ・関平鉱泉友の会の設立 ・ポイントカードの作成 ・経営強化会議の開催 ・宣伝活動の実施 ・クレーム対応									

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	宣伝活動の実施回数	回	15	15	15	15	15
イ	経営強化会議の開催回数	回	3	3	4	4	4
ウ							

(2) 事務事業の目的									
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	市民、顧客	人口		人	127,365	127,475	127,283	128,861	128,861
イ									
ウ									
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	関平鉱泉を適正な価格で購入できる。	関平鉱泉の売上高		千円	380,935	335,195	329,752	400,000	400,000
イ									
ウ									

(3) 上位の基本事業									
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	受益に見合った使用料・手数料(利用料)、分担金等の負担をしてもらう	決算統計(04表)		億円	20	20	15	19	20
イ									
ウ									

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)			4. 事業費の推移								
昭和58年、市民及び一般来訪者の保護と福祉、市民福祉の向上を目的として設置された関平鉱泉販売所の効率的な運営と販売促進を実施することを目的に開始された。市長より、財源確保として販売促進の要望がある。			単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)			
			事業費	投入	国庫支出金	千円		0	0	0	0
				財源内訳	県支出金	千円		0	0	0	0
					地方債	千円		0	0	0	0
					その他	千円		349,815	371,191	489,513	489,513
					一般財源	千円		0	0	0	0
			事業費	千円	0	349,815	371,191	489,513	489,513		

5. 平成25年度の実績及び成果	
(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
20L(1,000円):212,475箱 212,475,000円 10L(600円):71,820箱 43,092,000円 ペットボトル2L:107,313本 24,681,990円 500ml他:203,792本 22,417,120円 その他 27,086,633円 計 329,752,743円	適正な施設管理と関平鉱泉水の知名度アップのためのPR活動、市内宅配事業を実施し売上上の増加、迅速かつ確実なクレーム対応を行い、市民(顧客)に対して安定した鉱泉水の供給に努めた。

事務事業 コード	07010101	事務 事業名	関平鉱泉水販売・管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ ■ 結びついている □ 間接的に結びついている □ 結びついていない	適正な管理のもと、安心安全な関平鉱泉水を市民(顧客)に関平鉱泉水を適正な価格で購入し愛飲してもらう事は、受益にあった使用料・手数料(利用料)、分担金等の負担をしてもらうことに繋がりが結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ ■ 妥当である □ 見直す必要がある	市は、収入の確保(負担金、補助事業の導入、自主財源の確保)を行う必要があるため、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ ■ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はほとんどない	宣伝・広告を積極的に行うことにより、売り上げの向上余地はある。また、老朽化した販売施設を建て替え、利用者の利便を図れば、成果の向上余地がある
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ ■ 影響がある □ 影響がほとんどない	販売促進に関する事業を怠れば、鉱泉水の売上げが下がり、市の貴重な財源が不足する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) ■ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	経費削減には常日頃から努めており削減の余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	本事業は、最低限の事務であり、削減の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	不特定多数が対象となり、安心安全な関平鉱泉水を提供することにより、市民(顧客)からも販売代金を徴収しているため、公平性は保てる。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2) 平成26年度の改革改善の内容	宣伝・広告を兼ねたインターネット販売を検討する。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	適正な施設管理と関平鉱泉水の知名度アップのためのPR活動、迅速かつ確実なクレーム対応を行い、市民(顧客)に対して安定した鉱泉水の供給に努め、市内宅配事業を実施し、売上の増加を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総評									





1. 基本情報										
事務事業コード	04040202	事務事業名	ほぜ祭り開催支援事業				担当部	商工観光部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり					担当課	観光課		
施策名	04	文化の振興					グループ	観光PRグループ		
基本事業名	02	文化関係団体の育成					電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 — 不明 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )					
	款	07 商工費			根拠法令・条例等					
	項	01 商工費								
	目	04 観光費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

ほぜ祭り奉賛会に補助金を交付し、ほぜ祭り奉賛会が行うほぜ祭りを支援している。  
 (市の活動)ほぜ祭り奉賛会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。  
 (ほぜ祭り奉賛会とは)例年11月に霧島神宮で行われる『ほぜ祭り』開催にあたり、計画・実施などを行う団体。  
 構成員:会長 霧島市長、副会長 霧島総合支所長・霧島市観光協会長・霧島市商工会長 他委員17名・監事2名。  
 (ほぜ祭り奉賛会の活動) 11月23日に霧島神宮で五穀豊穣祈願と豊年を祝い奉納を行う行事として『ほぜ祭り』を行う。  
 【ほぜ祭りの概要】豊年を祝い、神様への感謝のため奉納行事が行われる。地元スポーツ少年団による「子供みこし」を皮切りに、女性団体の踊り連、霧島中学校吹奏楽部の演奏、狭名田、伊田地区による棒踊り、霧島新ハヤ節、俵踊り、ひよっとこ踊りが奉納される。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア ほぜ祭延べ参加者数	人	3,000	4,000	4,000	4,000	4,000
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,365	127,475	128,156	128,861	126,597
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 地域芸能に触れることができる。	参加団体の参加者数	人	630	600	640	650	660
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 郷土芸能を継承し、広める。	郷土芸能保存会の団体数	団体	35	32	34	40	40
イ 郷土芸能を継承し、広める。	郷土芸能保存会に所属している人の数	人	2,556	2,398	2,582	2,550	2,550
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)  
 霧島神宮があることより、五穀豊穣のお祭りを昔より実施している。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		487	468	421
		事業費	千円	0	487	468	421

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

11月23日に霧島神宮で行われる『ほぜ祭り』開催にあたり、計画・実施などを行った。	11月23日に行われた『ほぜ祭り』では、郷土芸能の披露の他に、特産品の販売や相撲大会・ゲートボール大会など、地域の活性化につながるイベントも実施しているため、教育委員会ではなく、観光課から支援を行っている。
---	---

事務事業 コード	04040202	事務 事業名	ほぜ祭り開催支援事業	担当部 担当課	商工観光部 観光課
-------------	----------	-----------	------------	------------	--------------

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	ほぜ祭りを開催することで、霧島市民に対して地域芸能に触れる機会を提供することは、伝統芸能を継承し広めてもらうことに結びついている。 さらに、ほぜ祭りを開催することで、地域の活性化や霧島市を訪れる観光客の増加にもつながっている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めさせる必要があるためである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	地域住民による伝統行事のため、参加団体についても公募等は行わず、地元団体のみで実施しているため、これ以上参加団体を増やすことは出来ない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	ほぜ祭りを廃止すれば、市民が伝統文化に触れる機会が少なくなり、伝統文化を継承し、広めていくことができなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 市観光協会活動支援事業 事務処理及び意図が類似する事業があるため、補助金交付について、霧島市観光協会が事務局を担っている他の事業同様、観光協会支援事業としての補助金交付が可能である。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	類似のイベントの補助金を統合することで、補助金申請事務手続き等の事務を削減することで市の負担を削減出来る。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	類似のイベントの補助金を統合することで、補助金申請事務手続き等の事務を削減することが出来る。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島神宮境内で行うため、入場料などは徴収せず、地元の住民から立ち寄りの観光客まで広く楽しんでいただいている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○				○	○		
(2) 平成26年度の改革改善の内容	市観光協会支援事業と連携・統合する事により、事務事業の軽減と共に効果的な支援体制の充実が図れないか検討する。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	市観光協会支援事業と連携・統合する事により、事務処理の軽減と効果的な支援体制の充実を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >						
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								



1. 基本情報										
事務事業コード	04040201	事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業				担当部	商工観光部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり	担当課	観光課						
施策名	04	文化の振興	グループ	観光PRG						
基本事業名	02	文化関係団体の育成	電話番号	45-5111						
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 15 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )			
	款	07	商工費				根拠法令・条例等			
	項	01	商工費							
	目	04	観光費							
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画				
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国分広瀬地区の潮遊池で毎年、8月16日に小村新田魚捕り組合が飼馬桶を半分に切った筏に乗り、「エッナ」と呼ばれるボラの子を投げ網で捕り、その場でさばいたエッナを酢味噌などで食するという精進落としの伝統行事に対し、行事開始の合図の花火打ち上げ、仮設トイレの設置及び給水車による水の提供などを行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 仮設トイレ数	基	1	1	1	1	1
イ 給水車数	台	1	1	1	1	1
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 広瀬地区の住民	広瀬地域の住民	人	5,977	5,949	6,066	6,027	6,027
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア ハンギリだしを見せよう	ハンギリだしを見学した人の数	人	250	250	350	300	300
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 郷土芸能を継承し、広める。	郷土芸能保存会の団体数	団体	35	32	34	40	40
イ 郷土芸能を継承し、広める。	郷土芸能保存会に所属している人の数	人	2,556	2,398	2,582	2,550	2,550
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

地域の伝統行事であるハンギリだしに参加される方々の利便性を図るため、平成15年から開始した。伝統的な行事であり存続を含め支援が必要である。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		24	24	25	25
		事業費	千円	0	24	24	25	25
投入量								

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

行事開始の合図の花火打ち上げ、仮設トイレの設置及び給水車による水の提供を行った。	地元の魚取り組合が行う伝統行事で、今後保存・継承するために支援が必要であるが、類似事業との連携を図る事により効果的な周知と事務局体制の向上が見込まれる。
--	--

事務事業 コード	04040201	事務 事業名	「ハンギリだし」開催支援事業	担 当 部	商工観光部
				担 当 課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理 由	
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	国分広瀬地区の伝統行事である「ハンギリだし」を支援することは、伝統文化を継承し、広げることに関わり結びついている。	
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		伝統文化(特に郷土芸能や年中行事)の活用は、地域の活性化、地域づくり、コミュニケーションづくりの役割として位置付けができるため、市は地域と保存団体との連携を図る必要があり妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市観光協会支援事業との連携により、効果的な開催告知や支援体制の充実が図られる。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		トイレ等の設置費用のため、事業を廃止した場合、衛生面に支障が出る。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		類似事業がある場合 市観光協会支援事業
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	類似のイベントの補助金を統合することで、補助金申請手続き等の事務を削減することで市の負担を削減出来る。	
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	類似のイベントの補助金を統合することで、補助金申請手続き等の事務を削減することが出来る。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統行事であり、受益負担はなじまない。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○				○	○		
(2) 平成26年度の改革改善の内容	市観光協会支援事業と連携・統合する事により、事務事業の軽減と共に効果的な支援体制の充実が図れないか検討する。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	市観光協会支援事業と連携・統合する事により、事務処理の軽減と効果的な支援体制の充実を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総 評									



<b>1. 基本情報</b>												
事務事業コード	03030311	事務事業名	霧島市花火大会開催支援事業				担当部	商工観光部				
政策名	03	活ある産業のまちづくり					担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興					グループ	観光PRグループ				
基本事業名	03	観光客の受入体制充実					電話番号	64-0895				
							内線番号	2611				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )					
	款	07 商工費					根拠法令・条例等					
	項	01 商工費										
	目	04 観光費										
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	霧島市観光基本計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価		評価対象	1次評価		

**2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>**

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

合併前に各地で行われていた花火大会を統合し、市政3周年(平成20年度)、市政5周年(平成22年度)、市政7周年(平成24年度)と、これまで隔年置きに花火大会を開催しており、平成25年度から毎年開催することとしている。平成26年度においても、花火大会を開催する霧島市花火大会実行委員会へ補助金を交付し開催支援を行う。

花火大会を企画運営する実行委員会(事務局:霧島商工会議所)に対し、市は補助金交付に関する手続きを処理する。(申請受付、決定、補助金交付、実績確認、精算確定)また、花火大会を共催し、花火大会実行委員会の一員として、事務局と各種業務を連携して実施している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 花火大会に訪れた人数	人		30,000	0	40,000	
イ						
ウ						

**(2) 事務事業の目的**

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	127,365	127,475	127,283	128,861	129,360
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 花火大会に訪れることにより、霧島市の魅力を再認識できる	花火大会に訪れた人数	人		30,000	0	30,000	30,000
イ							
ウ							

**(3) 上位の基本事業**

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等** (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

合併前に各地で行われていた花火大会を統合し、市政3周年(平成20年度)、市政5周年(平成22年度)、市政7周年(平成24年度)と、これまで隔年置きに花火大会を開催していたが、毎年花火大会を開催してほしいという要望をうけ、平成25年度より毎年花火大会を開催することとしている。	<b>4. 事業費の推移</b>		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0	0
			県支出金	千円		0	0	0	0
			地方債	千円		0	0	0	0
			その他	千円		0	0	0	0
			一般財源	千円		12,000	4,924	11,520	12,000
			事業費	千円	0	12,000	4,924	11,520	12,000

**5. 平成25年度の実績及び成果**

**(1) 平成25年度の実績(取組)** <取組内容を数値等により具体的に記載> **(2) 平成25年度の成果** <左記の実績(取組)による成果を記載>

平成25年度は、台風等の影響のため中止した。 中止のため成果は無し。







1. 基本情報									
事務事業コード	03030310	事務事業名	花と緑のまちづくり推進事業			担当部	商工観光部		
					担当課	観光課			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			グループ	観光地づくりグループ			
施策名	03	観光業の振興			電話番号	64-0895			
基本事業名	03	観光客の受入体制充実			内線番号	2614			
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 H 3 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（～）			
	款	07 商工費							
	項	01 商工費							
	目	04 観光費							
事務の区分	自治事務（法令で義務付けられていない事務）				根拠法令・条例等	なし			
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）

市は、「花は霧島・たばこは国分」と民謡にあるように、花に彩られた霧島を演出し、美しい観光霧島のイメージ定着化を図るため、霧島ロイヤルホテルと国民休養地周辺・農大跡地・霧島温泉駅等（157㍍）を利用してそれぞれの場所のイメージに合った花（チューリップ、コスモス、菜の花等）を植栽している。  
 花の植栽や維持管理については、シルバー人材センター等に委託している。

① 活動指標（事務事業の活動量）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （見込）	27年度 （見込）
ア 作業にかかった人員	人	30	30	30	30	30
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 （誰、何を対象にしているのか）	③ 対象指標 （左記②対象の大きさを表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （見込）	27年度 （見込）
ア 観光客	観光統計	万人	673	737	772	1,000	1,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

④ 意図 （②対象をどうしたいのか）	⑤ 成果指標 （左記④意図の達成度を表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （目標）	27年度 （目標）
ア 花の植栽による景観形成により霧島市に魅力を感じてもらおう。	苦情件数	件	0	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 （さらにどのような成果に結びつのか）	⑦ 基本事業の成果指標 （左記⑥意図の達成度を表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （目標）	27年度 （目標）
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

（法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等）

平成3年に開設した上野原縄文の森の残地（市有地）に花を植えることによって、観光客など訪れる人に癒しを与えることを目的に開始された。また、国民休養地周辺・農大跡地・霧島温泉駅等については平成15年から開始された。花を植えて景観を整えていることで、人々が集まり憩いの場として定着しつつある。特に意見などはないが、好意的に受け入れられているように感じる。市民や議会などからの意見等は特になし。

4. 事業費の推移

事業費	財源内訳	投入量	23年度 （決算）	24年度 （決算）	25年度 （決算）	26年度 （計画）	27年度 （計画）
			国庫支出金	千円		0	0
県支出金	千円			0	0	0	
地方債	千円			0	0	0	
その他	千円			0	0	0	
一般財源	千円			132	200	200	
事業費	千円		0	132	200	200	

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>

霧島ロイヤルホテルと国民休養地周辺・農大跡地・霧島温泉駅等（157㍍）を利用してそれぞれの場所のイメージに合った花（チューリップ、コスモス、菜の花等）を植栽した。

観光客が多く訪れる場所、よく目に止まる場所に花などを植栽することで、霧島市を景観の美しい観光都市として印象づけることができ、リピーターの増加に寄与している。

事務事業コード	03030310	事務事業名	花と緑のまちづくり推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	旅行者に花の植栽による景観形成によって霧島市に魅力を感じてもらえるようにし、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながっている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光施設の整備、景観形成等、観光客を受け入れる体制を整える必要があるのが妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	維持管理を徹底し、また広く周知することで、観光客数も増加につながり、成果の向上が更に図られる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光施設や観光沿線が花がなく荒地の状態だと、観光客に悪い印象を与えてしまうので廃止はできない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等  植栽の定期的な維持管理によって、観光地周辺を美しく形成し、観光客をもてなす受け皿をつくる事業は他に類似の事業がない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	長持ちのする花、手入れのしやすく見栄えの良い花などを植栽するなど、植栽する植物を工夫することで事業費の削減の余地がある。 また、現在委託をしているが地元の高中生やボランティアなどに管理を任せることで、事業費の削減の余地がある。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	維持管理をすべて外部へ委託しているので、削減余地がない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	老若男女問わず、誰もが見学でき、また憩いの場として利用できる。また観光地の沿線の荒れている原野の整備にもつながり公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1)事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○						
(2)平成26年度の改革改善の内容	事業を継続し「花は霧島」という印象づけをすとともに、観光地に来られた方の目の保養となるような植栽地づくりに努める。								
(3)平成27年度の方 向性・取組目標	地元の学生やボランティア団体などとともに植栽地づくりに努めるなど、より地域の方々と一体となった事業遂行を目指す。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1)事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評									



1. 基本情報										
事務事業コード	03030313	事務事業名	空港PRブース管理運営事業				担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課			
施策名	03	観光業の振興				グループ	観光PRG			
基本事業名	03	観光客の受入体制充実				電話番号	0995-45-5111			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )			
	款	07 商工費					根拠法令・条例等			
	項	01 商工費								
	目	04 観光費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

鹿児島空港40周年を記念し、多様な集客機能と情報発信機能を持つ空港ビルにおいて、平成24年10月1日より広く霧島市の観光や特産品等をPRするとともに、観光客等に対して安心して旅のできる「おもてなし」の充実を図る。

【主な委託業務】委託先:公益社団法人 霧島市観光協会  
 スタッフの雇用及び育成・運営企画・観光案内、問い合わせ対応・特産品提供によるPR・各種イベント等情報提供

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 空港利用者・旅行者	千人	4,462	4,783	5,004	4,550	4,550
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 空港利用者・旅行者	鹿児島空港延べ利用者数	千人	4,462	4,783	5,004	5,000	5,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 空港で霧島市の最新情報を手軽に入手することができる。	案内した人数	人	***	41,394	97,827	100,000	100,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		0	17,663	17,820	17,820
		事業費	千円	0	0	17,663	17,820	17,820

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

観光や特産品のPRは、テレビやラジオなどの活用、パンフレットやポスターの作成、各種キャンペーンなどを中心に行われているが、年間500万人の利用客がある鹿児島空港において常時情報を提供することで、観光客誘客だけでなく、特産品等のPRに大きく繋がる。  
 また、旅行の形態が個人や小団体に移行する傾向があり、現地でのおもてなしや最新の様々な情報入手できる体制が整っていることが求められる。  
 平成25年度の接客実績は、観光案内ブース97,927人、お茶ブース19,005人。

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

観光PRブースを訪れる観光客に対して、霧島市の情報を提供したり、霧島市の特産品をふるまい、おもてなしを行うことで、霧島市の知名度向上に努めた。  
 さらに、黒酢・ブルーベリー・梨・霧島茶の特別キャンペーンを行い、特産品をPRすることが出来た。







1. 基本情報											
事務事業コード	04040204	事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業				担当部	商工観光部			
政策名	04	育み磨きあうまちづくり				担当課	観光課				
施策名	04	文化の振興				グループ	観光PRG				
基本事業名	02	文化関係団体の育成				電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 39 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等				
	項	01 商工費									
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

隼人町民芸保存会の運営費補助として補助金を交付している。  
 (市の活動)  
 隼人町民芸保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。  
 (隼人町民芸保存会の活動)  
 13(御田植祭、田の神舞、トド組、太鼓踊り、棒踊り、隼人浜下り、郷土玩具、鈴かけ馬踊り、かぎ引き、琉球人踊り、米作り踊り、魚とり踊り、隼人弓)の郷土芸能の保存・継承活動及び伝統工芸、郷土玩具の保存・継承活動

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 隼人町民芸保存会	団体数	団体	13	13	13	13	13
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 郷土芸能の保存・継承活動に取り組んでもらう。	保存・継承活動を行った民芸保存会の郷土芸能等の数	団体	13	13	13	13	13
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 伝統文化を継承し、広めてもらう。	郷土芸能に関わる人数(団体登録者)	人	2,556	2,398	2,634	2,500	2,500
イ 伝統文化を継承し、広めてもらう。	発表を行っている団体数	団体	35	32	37	35	35
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		3,031	3,031	2,800	2,800
		事業費	千円		0	3,031	3,031	2,800

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

他の類似事業の事務局である文化振興課と協議をおこない、理事会にて今後の事務局体制を含め伝統芸能・工芸の保存、継承の為の方策について検討をおこなった。

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

民芸保存会のあり方、市全体の伝統芸能保存団体の設立に向け、平成26年度中に具体的な協議を行うこととした。



事務事業 コード	04040204	事務 事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

### 9. コストの推移

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食料費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	3,031	2,800	2,800
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		3,031	2,800	2,800
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	3,031	2,800	2,800
計		3,031	2,800	2,800
補助率	国			
	県			
補助基本額				

#### 平成25年度補正・流用状況

当初予算	3,031
補正予算	0
補正回数 1 回	
補正回数 2 回	
補正回数 3 回	
補正回数 4 回	
補正回数 5 回	
補正回数 6 回	
補正回数 7 回	
補正回数 8 回	
流用・充用	
予算合計	3,031

#### 特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

1. 基本情報										
事務事業コード	04040203	事務事業名	天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業				担当部	商工観光部		
政策名	04	育み磨きあいまちづくり	担当課	観光課						
施策名	04	文化の振興	グループ	観光地づくりG						
基本事業名	02	文化関係団体の育成	電話番号	45-5111						
			内線番号	2613						
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )					
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	特になし				
	項	01 商工費								
	目	04 観光費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

天孫降臨霧島祭を実施している天孫降臨霧島祭実行委員会に補助金を交付している。  
 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。  
 (実行委員会の活動)天孫降臨霧島祭の開催  
 霧島祭は、夏に2日間の日程で行われ、みやまコンセール、霧島神宮の2会場で霧島九面太鼓の太鼓演奏、霧島神楽振興会の霧島神楽、地域の郷土芸能などを披露し、地域の伝統芸能活性化を図ると共に、市外から誘客し市全体の観光活性化を図る。  
 ※同実行委員会は、祭を円滑に運営するために関係する団体の職員、市職員等で構成された組織である。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 祭りに見に来た人の数	人	10,100	1,915	3,950	5,000	5,000
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民	市の人口(4/1付け)	人	128,868	127,475	127,537	127,259	127,259
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 地域伝統芸能の活性化を図れる。	祭りに参加した芸能団体の数(延べ)	団体	26	26	16	26	26
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 伝統文化を継承し、広めてもらう。	郷土芸能に関わる人数(団体登録者)	人	2,556	2,398	2,634	2,500	2,500
イ 伝統文化を継承し、広めてもらう。	発表を行っている団体数	団体	35	32	37	35	35
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

旧霧島町で行われていた神楽祭りや旧牧園町で行われていた霧島高原太鼓まつりを合併を機に平成18年より天孫降臨霧島祭として一つの祭に統合し、本市の地域の伝統芸能の啓蒙を図ることを目的に開催された。市民や議会などからの意見等は特になし。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0	
		県支出金	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		その他	千円		0	0	0	
		一般財源	千円		7,176	6,700	6,030	6,030
		事業費	千円	0	7,176	6,700	6,030	6,030
投入量								

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

平成25年8月24日に霧島神宮にて第16回南九州神楽まつり、翌25日にみやまコンセール野外音楽堂にて第28回霧島高原太鼓まつりを開催した。平成25年度は、第16回南九州神楽まつりに出演した団体が4団体、第28回霧島高原太鼓まつりに出演した団体は5団体。伝統芸能を披露する場や、間近で鑑賞できる機会は少なく、伝統芸能の維持・継承及び普及のための貴重な事業となっている。  
 ※神楽まつり出演団体: 中江岩戸神楽(熊本県)、狭野神楽(宮崎県)、霧島神宮神楽(霧島市)、霧島神楽(霧島市)  
 ※霧島高原太鼓まつり出演団体: 今福優(島根県)、ゆふいん源流太鼓(大分県)、枕崎火の島太鼓(枕崎市)、霧島九面太鼓・和奏・郷花(霧島市)、高千穂小学校育徳会(霧島市)

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

霧島高原太鼓まつり、南九州神楽まつりともに、市内の霧島神宮神楽及び霧島九面太鼓だけでなく、県外市外から多数の出演団体が参加したことにより、市民だけでなく多くの人に伝統文化に触れる機会が生まれ、伝統文化を広めることができた。





1. 基本情報										
事務事業コード	3030310	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園維持管理事業				担当部	商工観光部		
						担当課	観光課			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				グループ	観光地づくりG			
施策名	03	観光業の振興				電話番号	45-5111			
基本事業名	03	観光客の受入体制充実				内線番号	2615			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )			
	款	07 商工費								
	項	01 商工費								
	目	05 施設管理費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	龍馬市塩浸温泉龍馬公園の設置及び管理に関する条例 龍馬市塩浸温泉龍馬公園の設置及び管理に関する条例施行規則			
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

旧牧園町の「塩浸温泉福祉の里」を平成22年5月1日にリニューアルオープンした「塩浸温泉龍馬公園」の維持管理に関する事業。公園内には、幕末の風雲児「坂本龍馬」に関する書籍や霧島の温泉・塩浸温泉に関する展示がある。また、塩浸・鶴の湯のふたつの源泉を楽しむことができる「塩浸温泉」や足湯もある。平成元年に建立された、龍馬・お龍の湯治碑もある。  
 平成24年度からは、指定管理者制度を導入。  
 【温泉料金】 大人360円 小人140円  
 【資料館】 大人200円 小人100円

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 龍馬資料館の入館者数	人	10,391	8,725	9,894	10,000	10,000
イ 塩浸温泉の利用者数	人	6,098	8,178	8,170	8,500	8,500
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 霧島市を訪れる観光客	霧島市を訪れる観光客	人	6,733,375	7,367,062	6,693,064	6,700,000	7,000,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 塩浸温泉龍馬公園を訪れ、霧島の歴史を知り、温泉を楽しむことができる。	公園への来訪者	千人	184	201	203	205	207
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成22年5月1日にリニューアルオープンして今年で4年目になりオープン当初程ではないが、近年は指定管理者の自主事業もあり、来園者も横ばいで推移している。公園利用者や通行人等の意見としては、公園がカーブのところにあり、駐車時の危険性が高く、駐車場が少ない。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	
		県支出金	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		その他	千円		0	0	0	
		一般財源	千円		11,215	11,000	11,315	8,993
		事業費	千円	0	11,215	11,000	11,315	8,993

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

平成25年度は指定管理者の自主事業(龍馬にゆかりのある道を歩くイベント、公園内の河川でカメを飼育等)を行い、来園者増加に努めた。また、平成25年度も引き続き月曜日を自主事業として開館した。  
 指定管理者の自主事業等もあり来園者は横ばいで推移した。また、収入は自主事業の努力により増加し、来園者の満足度も高水準であった。

事務事業コード	3030310	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園維持管理事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	霧島市を訪れる観光客が、塩浸温泉龍馬公園を訪れ、霧島の歴史を知り、温泉を楽しむことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	限られたスペースで指定管理者は多くの取組を行い来園者が飽きないように努力を続けている。今後は、PR等の充実や他の事業との連携を図ることで、成果の向上余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光客の目玉にもなっている当施設がなくなると観光客の減少に繋がる。また、地区の方も当温泉を利用しているため、廃止はできない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 市内観光施設維持管理事業 塩浸温泉龍馬公園は営業時間等の関係で特殊な勤務であるため連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	旧福祉の里を基に改築されているため、基礎部分の老朽化は否めないが、ある程度の改修を行うことで、改修後の事業費は削減できる。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	定期的な指定管理者の更新時に削減の可能性あり。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	条例に定められた範囲内での資料館・温泉の利用料金であり、対象者も制限しておらず、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○		○	○			
(2) 平成26年度の改革改善の内容	市と指定管理者が連携し来園者増加と満足度向上に向け取り組みを続ける。 なお、平成26年度はリバーフロント整備(親水護岸工事)が行われるため、更なる誘客につなげていく。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	平成27年度は指定管理者の更新時期であり不透明な部分もあるが市と指定管理者が連携して来園者増加と満足度向上を目指す。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									



事務事業 コード	3030310	事務 事業名	塩浸温泉龍馬公園維持管理事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

**9. コストの推移**

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金	0		
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	100	0	0
	消耗品費	0		
	燃料費	0		
	食料費			
	印刷製本費	100		
	光熱水費	0		
	修繕料	0		
12	役務費	13	0	0
	通信運搬費	0		
	広告料			
	手数料	0		
	保険料	13		
13	委託料	11,000	11,315	8,993
14	使用料及び賃借料	0		
15	工事請負費	0		
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費	0		
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		11,113	11,315	8,993
財源内訳	国庫支出金	0		
	県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	11,113	11,315	8,993
計		11,113	11,315	8,993
補助率	国			
	県			
補助基本額				

**平成25年度補正・流用状況**

当初予算	11,113
補正予算	0
補正回数 1 回	
補正回数 2 回	
補正回数 3 回	
補正回数 4 回	
補正回数 5 回	
補正回数 6 回	
補正回数 7 回	
補正回数 8 回	
流用・充用	
予算合計	11,113

**特定財源内訳**

区分	名称	金額
県支出金	県支出金	0
合計		0

1. 基本情報											
事務事業コード	03030105	事務事業名	市観光協会活動支援事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり	担当課	観光課							
施策名	01	観光業の振興	グループ	観光PRG							
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開	電話番号	45-5111							
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 21 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等				
	項	01 商工費									
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(公社)霧島市観光協会の事業及び運営補助として補助金を交付している。  
 (市の活動)同協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行う。  
 (同協会の活動)観光案内、霧島市の情報発信、観光商品の開発、チラシの作成・配布、観光イベントの実施  
 ※(公社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会合併しH21年4月に発足した  
 ※平成25年4月1日から公益社団法人に移行  
 1. 観光客の誘致促進事業  
 観光イベントの開催事業：霧島さんくぐらウンドゴルフ大会  
 国内からの観光誘客事業：雲仙市姉妹盟約締結記念事業、情報誌による広告宣伝(じゃらん)、地区別温泉地パンフレット作成助成、雑誌メディアを活用した情報提供事業、ホームページ等による観光情報の発信事業、コンベンション誘致事業、自転車天国霧島事業、観光スポット紹介事業、インバウンド対策事業、諸団体等との連絡及び提携事業

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	数	248	252	246	260	270
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 市観光協会の活動運営を支援することにより観光誘客のための事業を推進する。	観光宣伝をした回数	回	4	5	7	8	9
イ 市観光協会の活動運営を支援することにより観光誘客のための事業を推進する。	イベントを実施した回数	回	13	15	20	21	22
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう。	国内からの宿泊観光客数	人	861,060	966,141	947,019	997,000	1,017,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市が合併し、観光振興を一体となって推進するために、(公社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会が合併しH21年4月に発足した。  
 観光客や観光関係者の情報提供として情報の一元化とホームページの充実などが必要である。各種イベント等について霧島市観光協会が事務局を担うことが望ましい。

4. 事業費の推移

事業費	財源内訳	投入量	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
			国庫支出金	千円		0	0	0
県支出金	千円			0	0	0	0	
地方債	千円			0	0	0	0	
その他	千円			0	0	0	0	
一般財源	千円			17,296	16,950	16,950	16,950	
事業費	千円			0	17,296	16,950	16,950	16,950

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

<p>1. 観光客の誘致促進事業 (上記、事務事業の概要に記載)                  2. 観光客の受入整備事業                  霧島ジオパークの推進事業、観光案内・紹介事業、観光事業功労者等表彰事業、観光スポットへの周遊・受入促進事業、諸団体等との連絡及び提携事業、霧島温泉地区雑用水管理運営事業                  龍馬ハネムーンウォーク、天孫降臨霧島祭事務局</p>	<p>情報提供・意見交換を蜜にし、市と観光協会と一体となった誘致宣伝活動やインターネットなどを活用した新たな情報発信に努めた。                  また、観光協会会員とも情報提供・意見交換を蜜にし、一体となった観光宣伝などを行った。                  「自主事業の費用対効果を分析し、スクラップアンドビルドに取り組んだ」ことにより、効率的な観光宣伝等を行うことができた。</p>
---	--





1. 基本情報										
事務事業コード	03030106	事務事業名	霧島大使運営事業			担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり	担当課	観光課						
施策名	03	観光業の振興	グループ	観光PRG						
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開	電話番号	45-5111						
			内線番号	2612						
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費				根拠法令・条例等				
	項	01 商工費								
	目	04 観光費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本事業は平成20年度から開始し、市勢全般について理解を深め、それぞれの立場から市政に対する提言や意見を頂いている。また、本市の観光の魅力や特産品等の紹介、宣伝など、本市のイメージアップに繋がる活動及び企業誘致や定住促進など、市勢発展に寄与していただき、また本市の更なる宣伝効果につなげることを目的としている。なお、委嘱は各関係課からの推薦に基づき行い、その後の事務的な業務は、推薦があった関係課と観光課が連携して行っている。  
 【おじゃんせ霧島大使委嘱者】辛島美登里・井上一樹・白鵬 翔・堤 剛・陸奥 一博・猫ひろし・生島ヒロシ 計7名  
 【霧島市ふるさと大使】細山田明義(首都圏霧島市ふるさと会最高顧問)、原口悟郎(首都圏霧島市ふるさと会会長)、末満利昭(首都圏霧島市ふるさと会会長代行)、梶島義則(首都圏霧島市ふるさと会幹事長)、宮村憲一(元トヨタ車体研究所エグゼクティブアドバイザー) 計5名  
 【観光宣伝】 それぞれの活動の場で霧島市をPRしてもらう。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 委嘱者数(延べ)	人	5	10	12	12	12
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 国民	人口(4/1現在)	億人	1	1	1	1	1
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 霧島市の情報を得ることができる	名刺を受取った人数	人	1,600	1,600	2,400	2,400	2,400
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 国内からの宿泊観光客数	霧島市観光統計	人	861,060	966,141	947,019	997,000	1,017,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

本市にゆかりや関係がある著名人等に対し、霧島大使を委嘱することで、その方の広い活動範囲や内容を活用した、本市の知名度向上やイメージアップ、魅力のPRにつなげるため、平成20年度から実施している。現在12名の幅広いジャンルのの方が大使として任命されている。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		207	228	257	257
		事業費	千円	0	207	228	257	257

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

「霧島ふるさと大使」として活動する際に使用して頂くための名刺を各200枚制作した。また、本市特産品PRに繋がると判断した本市訪問時に、3回特産品の贈呈を行った。

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

平成25年度は新たに2名(内訳 おじゃんせ霧島大使1名、霧島市ふるさと大使1名)を霧島大使として委嘱した。12名の大使については、それぞれの分野で霧島市をPRしていただき、本市発展に寄与していただいた。

事務事業 コード	03030106	事務 事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	国民が霧島市の情報を得ることができ、国内からの宿泊観光客数の増加に繋がる。	
	② この事業をなせば市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、霧島市に観光客を誘致するための活動をする必要があり、妥当である。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	霧島大使が、各分野で活動する際に霧島大使の名刺を活用頂くことで、様々な分野での本市のPRが可能となり、市の更なる知名度向上に繋がる。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	著名人によるPRを行うための有効な手段が失われる事になり、影響がある。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 の事務事業名等	
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	名刺と盾のみを授与しており、他の経費が発生しないため削減余地はない。	
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	本課の事務は、候補者推薦があった場合の事務手続きや大使訪問時の調整、運営等である。理想的には、霧島大使の活用は観光面に絞らず、推薦した関係課等を中心に積極的に業務で活用することで、事業効果も高まり、本課の人件費も削減できると考える。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島のイメージアップにつながる活動であり、公平・公正といえる。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○						
(2) 平成26年度の改革改善の内容	本市の発展につなげるため、推薦した関係課を中心に、霧島大使の活用を促し、積極的に大使を活用する体制作りを行い、市と霧島大使が双方ウィンウィンとなる関係を構築する道筋をつける。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	霧島大使と関係課が連携することによる本課に集中する事務量の軽減と、各事業において、霧島大使が活躍し、霧島市を全国に発信する事業展開を目指す。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									



1. 基本情報											
事務事業コード	03030102	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興				グループ	観光地づくりG				
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開				電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	なし			
	項	01 商工費						関連計画	霧島市観光基本計画		
	目	04 観光費							事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)	
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

新幹線やJRを利用し鹿児島に訪れた観光客に対して本市への誘致を図るために、広告看板を設置する事業。昭和50年代に単人駅前及び単人駅構内、日当山駅前に観光案内看板を設置している。  
 また、平成16年に九州新幹線が開通したことに伴い、鹿児島中央駅に電照看板を設置している。  
 ※電照看板とは・・・カラーフィルムに裏から照明をあてて広告するもの

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 設置枚数	枚	4	4	4	4	4
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
----------------------	-------------------------	----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

ア 駅利用者(鹿児島中央駅)	新幹線利用客数	万人	425	399	402	402	402
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
--------------------	-------------------------	----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

ア 霧島市を知ることができる。	看板を見た人(九州新幹線利用客数)	人	425	399	402	402	402
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
------------------------------	------------------------------	----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

ア 国内からの宿泊観光客数	霧島市観光統計	人	861,060	966,141	947,019	997,000	1,017,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		1,719	1,715	2,178	1,763
	事業費	千円		0	1,719	1,715	2,178

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

人の多く集まり駅や交通量の多い道路に、霧島市の観光案内板を設置することで行き先の選択肢の一つに霧島市をいれてもらえるよう看板設置業務を行った。

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

鹿児島中央駅の看板については、リアルタイムな情報発信を行うことで、より多くの乗客等に周知することができ、多くの方に霧島市を知ってもらえた。







1. 基本情報											
事務事業コード	03030104	事務事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興				グループ	観光PRG				
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開				電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等				
	項	01 商工費									
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市PRスタッフ運営協議会に補助金を交付し、同協議会が行う霧島ふるさと大使の選考・活動を支援している。  
 (市の活動)同協議会に補助金を交付し、同協議会の事務局を担う。  
 (霧島市PRスタッフ運営協議会の活動)霧島ふるさと大使選考会の開催、霧島ふるさと大使の活動支援  
 ※ 霧島市PRスタッフ運営協議会とは、市内外で開催される各種イベントや観光宣伝において、霧島市をPRし観光客を誘致することを目的に選定する霧島ふるさと大使(PRスタッフ)の選考会の開催や活動を支援する団体で、霧島市・霧島商工会議所・観光協会で組織される。  
 (霧島ふるさと大使募集の概要)○ 霧島ふるさと大使 3名募集  
 ○ 任務 7月から1年間、霧島市をPRするための観光宣伝や物産展、霧島市の主催・後援・協賛する行事等に参加  
 ○ 応募資格① 霧島市に居住か職場がある方で、18歳以上(高校生を除く)の健康でやる気のある方なら、老若男女・未婚既婚を問わない。② 月平均3、4日程度の業務・出張に従事できる方。③ 自薦・他薦を問わない。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 出務回数	回	43	37	34	40	40
イ PRスタッフ選考会応募者数	人	14	11	19	15	15
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	127,365	127,475	127,283	128,861	129,360
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 各種イベント・観光宣伝で効率的に観光PRができる。	出務人数(延べ)	人	68	61	76	80	85
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう	国内からの宿泊観光客数	人	861,060	966,141	947,019	997,000	1,017,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		1,400	1,400	1,400	1,400
		事業費	千円	0	1,400	1,400	1,400	1,400

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

年間を通して34回、県内外で各種イベントに参加し、ステージでの観光宣伝やテレビ・ラジオ・新聞等へのメディア・マスコミ出演を行った。また、そのうち3回は本市でキャンペーンを行うプロチームの歓迎セレモニーで花束贈呈のおもてなし活動に従事し、本市誘客拡大に繋がった。

第6代の選考会には、過去最高の19名の応募があり、霧島ふるさと大使に対する認知度とステータスが高まっている結果が得られた。



事務事業 コード	03030104	事務 事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

**9. コストの推移**

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食料費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	1,400	1,400	1,400
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		1,400	1,400	1,400
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	1,400	1,400	1,400
	計	1,400	1,400	1,400
補助率	国			
	県			
補助基本額				

**平成25年度補正・流用状況**

	当初予算	1,400
補正予算	0	
補正回数 1回		
補正回数 2回		
補正回数 3回		
補正回数 4回		
補正回数 5回		
補正回数 6回		
補正回数 7回		
補正回数 8回		
流用・充用		
予算合計	1,400	

**特定財源内訳**

区分	名称	金額
合計		0

<b>1. 基本情報</b>											
事務事業コード	03030101	事務事業名	マスコミを利用した広告事業				担当部	商工観光部			
						担当課	観光課				
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				グループ	観光PRG				
施策名	03	観光業の振興				電話番号	45-5111				
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開				内線番号	2611				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等				
	項	01 商工費									
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

**2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>**

**(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)**

国内外からの多くの観光客を誘致するため、旅行情報誌・新聞及びホームページへの霧島市の観光情報の掲載など、様々なメディアを利用し、積極的な情報発信を行っている。

※平成25年度の掲載媒体

<旅行情報誌>

- リーブ…38,000部
- JR時刻表…30,000部
- リーク…68,000部
- 温泉博士…920,000部
- 読売新聞…890,000部
- 毎日新聞名古屋版…70,000部
- 南日本新聞…356,000部
- 産経新聞…890,000部
- 九州ウォーカー…50,000部

<b>① 活動指標 (事務事業の活動量)</b>	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 掲載回数	回	7	12	14	15	16
イ						
ウ						

**(2) 事務事業の目的**

<b>② 対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>③ 対象指標</b> (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 広告を掲載した旅行雑誌、新聞等の読者	掲載媒体販売部数	万部	116	268	331	340	350
イ							
ウ							
<b>④ 意図</b> (②対象をどうしたいのか)	<b>⑤ 成果指標</b> (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 霧島市を知ることができる。	広告を見た人の数(掲載媒体発行部数)	万部	116	268	331	340	350
イ							
ウ							

**(3) 上位の基本事業**

<b>⑥ 基本事業の意図</b> (さらにどのような成果に結びつのか)	<b>⑦ 基本事業の成果指標</b> (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう	国内からの宿泊観光客数	人	861,060	966,141	947,019	997,000	1,017,000
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和50年代に合併前の各市町村を情報発信するために開始された。日本経済の長引く不況により国内の旅行者は年々減少している。そのような中で、より訴求力のあるタイミングでどの媒体を用いて広告を掲出すべきか十分に情勢を見極めながら打って行く必要がある。

**4. 事業費の推移**

事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		815	900	900	900
		事業費	千円	0	815	900	900	900

**5. 平成25年度の実績及び成果**

**(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>**

<旅行情報誌>

- リーブ…38,000部
- JR時刻表…30,000部
- 温泉博士…920,000部
- 読売新聞…890,000部
- 産経新聞…890,000部
- 毎日新聞名古屋版…70,000部
- リーク…68,000部
- 南日本新聞…356,000部
- 九州ウォーカー…50,000部

**(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>**

リーブ、各種新聞等に掲載することで、霧島市の認知度向上に貢献し、宿泊者が増加した。

事務事業コード	03030101	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	広告を掲載した旅行雑誌、新聞等の読者は、霧島市を知ること、霧島市を訪れてもらうことで意図に結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光情報を発信することは、市の重要な役割であり妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	観光客を誘致する上で、広く情報を提供する手段として最も重要な事業であるが、部数発行や広報媒体の見直しを行う事で、より効果的な宣伝効果が期待できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光を計画している方は、ホームページなどによる情報手段だけでなく、雑誌広告により一定の地域以外も含めた形で計画をたてることもあり、この事業がなくなると、霧島の観光情報を発信する機会が減少し、認知度が低下する恐れがある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	広告掲載数量(頁又は質等)を少なくすることで、事業費を削減することはできるが、情報発信の機会が減る恐れがあることから、これ以上の削減は成果を大きく低下させる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員の事務としては契約、支払、資料提供、取材協力等、最低限必要なものであり、削減できない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数の人に発行している新聞・雑誌であり、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○						
(2) 平成26年度の改革改善の内容	掲載する媒体については、ターゲット地区を定め、その時の観光動向や経済状況等を勘案し、より効果の高い媒体、時期、エリアを分析し広告を掲載していく必要がある。								
(3) 平成27年度の方 向性・取組目標	平成26年度に掲載したエリアやターゲット地区も含め、部数発行や広報媒体の見直しを行う事で、より効果的な宣伝効果が期待できるように取組みが必要である。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									





1. 基本情報											
事務事業コード	03030306	事務事業名	霧島よかとこ案内所運営事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興				グループ	観光PRG				
基本事業名	03	観光客の受入体制充実				電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 19 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	特になし			
	項	01 商工費						関連計画 霧島市観光基本計画			
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市を訪れる観光客に対し、霧島市のどこにいても観光案内ができるよう、市内にある店舗等の事業所で道案内、観光地・観光施設などの紹介、パンフレットの配布を行ってもらう「よかとこ案内所」を設置している。  
よかとこ案内所は、トイレだけでも立寄り可能。  
市は、よかとこ案内所に対してパンフレットやマップ・観光早見表を配布し、案内所がいつでも観光案内ができるように努めている。  
選考基準は、特にないが同一地域内で密集しないように選んでいる。選んだ業者の方に了承を得、よかとこ案内所として協力していただいている。  
今後は、更に観光客の方に利用していただけるよう、情報の共有化等を進めていき、地域の人々から直接観光案内を受けることでより思い出深い旅行を提供できるように努める。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 依頼した事業所数	箇所	93	93	87	100	100
イ パンフレットの配布回数	回	3	3	1	3	3
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 観光客	観光統計	人	6,733,375	7,367,062	7,715,418	7,800,000	7,800,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 市内の様々な店舗で観光案内が受けられるようにする。	「よかとこ案内所」でのパンフレット配布枚数	枚	4,000	4,000	2,000	4,000	4,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)  
近年、旅行形態が変化し、旅行者のニーズとして住民とのふれあいを求めるケースが増えている。この事業は旅行者にタイムリーな情報提供を行うこと、住民による観光案内により住民とのふれあいを果たすことができることから平成19年度から開始され、現在も観光客に有益な情報を提供する貴重な窓口となっている。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		41	42	0
		事業費	千円		0	41	42
投入量							

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

観光客に「よかとこ案内所」と一目でわかるように、のぼりを作成した。案内所に設置する観光パンフレットの種類を充実させた。	のぼりを各「よかとこ案内所」に設置することで、運転中などでも目につきやすくなり、気軽に案内所に寄ってもらいやすくなった。「よかとこ案内所」に寄ってもらい、地元の人々から直接観光案内を受けることで、「霧島市」の印象を深めてもらいリピーターにつながった。
---	---





1. 基本情報											
事務事業コード	03030309	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり	担当課	観光課							
施策名	03	観光業の振興	グループ	観光地づくりG							
基本事業名	03	観光客の受入体制充実	電話番号	45-5111							
			内線番号	2615							
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	なし			
	項	01 商工費						霧島市観光基本計画			
	目	04 観光費						関連計画			
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					霧島市観光基本計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島からえびの高原行きの高原行き交通アクセスがなく登山者が不便なため、毎週土日に霧島神宮駅から霧島神宮、高千穂河原を経由してえびの高原まで2往復バスを平成17年より運行していたが、九州新幹線全線開業に伴い、利用者の利便性の向上のため平成23年3月12日以降は毎日運行している。平成25年5月に登山者及び他のバス路線の現状を踏まえ、丸尾を拠点としてダイヤ変更を行った。

【委託先】いわさきバスネットワーク(株)

【バス停】霧島神宮駅～霧島神宮～高千穂河原～新湯温泉～大浪池登山口～えびの高原(～4/30)  
丸尾～えびの高原～高千穂河原～丸尾(5/1～)

【料金】霧島神宮駅→霧島神宮(240円)→高千穂河原(430円)→新湯温泉(600円)→大浪池登山口(660円)→えびの高原(740円) (～4/30)  
丸尾→えびの高原(410円)→高千穂河原(740円)→丸尾(1,000円) (5/1～)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 延べ運行便数	便	1,432	1,040	1,452	1,460	1,460
イ 運行日数	日	358	260	363	365	365
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 霧島山の登山者	霧島山の登山者数(韓国岳、高千穂峰、大浪池)	人	0	58,171	99,347	110,000	120,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 2次交通アクセスが確保する	霧島連山バスの利用者数	人	2,099	2,548	3,973	5,000	5,500
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成17年より霧島からえびの高原行き交通アクセスがなく、登山者が不便であったために開始された。新幹線全線開業を受け二次交通アクセス網の確立のためこれまで、土日(5月のみ毎日)のみの運行であったが、平成23年3月12日からは毎日運行し、霧島神宮駅～霧島神宮～高千穂河原ビジターセンター～新湯交差点～大浪池～えびの高原の路線で運行した。平成25年5月から、登山者及び他のバス路線の現状を踏まえ、丸尾～えびの高原～高千穂河原ビジターセンター～丸尾の路線を運行している。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	
		県支出金	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		その他	千円		0	0	0	
		一般財源	千円		8,125	7,480	9,500	10,000
		事業費	千円	0	8,125	7,480	9,500	10,000

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

平成25年5月に登山者及び他のバス路線の現状を踏まえ、丸尾を拠点としてダイヤ変更を行った。

変更前:霧島神宮駅～霧島神宮～高千穂河原ビジターセンター～新湯交差点～大浪池～えびの高原

変更後:丸尾～えびの高原～高千穂河原ビジターセンター～丸尾

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

運行経費が削減された。

24年度:委託料5,518,940円/運行日数260日=21,227円/日

25年度:委託料7,480,160円/運行日数363日=20,607円/日

事務事業コード	03030309	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	霧島山の登山者の2次交通アクセスが確保することで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるためである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現在の火山活動状況や他の交通網を考慮して、新たなルート、利用者の利便性に合わせたルートなど検討することで、向上の余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光客の霧島連山への交通手段がなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 <b>コミュニティーバス運営事業、妙見温泉バス運行事業</b> 対象・意図がことなるので統合できない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	利用者のニーズに合わせ、運行計画の変更等を行うことで、運賃収入が増え、事業費の削減が図られる。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	委託料の交付事務のみであるので削減の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	バス利用者からは乗車賃を徴収しており、公平公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○		○				
(2) 平成26年度の改革改善の内容	登山者(入山規制外の山への登山者)のニーズに合わせた走行ルートを拡幅する等すれば成果の向上が見込まれる。また、旅行エージェント等と連携して乗客が増えればコストが削減される。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	より効果的な観光バスの運行を検討するために、2次アクセスの実態等の調査を検討している。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									



1. 基本情報											
事務事業コード	03030301	事務事業名	安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活気ある産業のまちづくり					担当課	観光課			
施策名	03	観光業の振興					グループ	観光PRG			
基本事業名	03	観光客の受入体制充実					電話番号	45-5111			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等				
	項	01 商工費									
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

妙見・安楽地域の活性化と連帯感を深めることを目的として、設立された団体。地域住民を会員として運営されている。温泉振興会・安楽温泉振興会に対し、国道223号沿線に花を植栽するための補助金を交付している。  
 (市の活動) 妙見温泉振興会・安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理・交付決定・実績報告・補助金交付)を行う。  
 (団体の活動)  
 日本最古の温泉由来がある安楽温泉の景勝と街並みを守り、地域振興の発展のため、旧牧園町の町木であるモミジを継続的に植栽し、安楽温泉の名所づくりに努め、市内外からの集客をはかり、霧島市の観光事業行政に寄与することを目的としている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	2	2	2	2	2
イ 植栽等活動参加者数	人	40	40	40	40	40
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 妙見・安楽地区	補助した団体数	団体	2	2	2	2	2
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 妙見・安楽地区の景観が向上する。	植栽等もみじ管理活動回数	回	4	4	4	4	4
イ 妙見・安楽地区の景観が向上する。	管理施設数	箇所	2	2	2	2	2
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国道223号沿線に花を植栽することによって、霧島を訪れる観光客に癒しの一時を提供するとともに、地域住民の連帯感を深めることを目的に昭和50年から開始された。特に変化なし。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		764	741	711
		事業費	千円		0	764	741

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
和気公園までのモミジ街道づくりに加え、藤まつりへの参加、和気神社・犬飼の滝周辺の看板外灯管理、龍馬ハネムーンウォークや九州オルレ歩道の下刈り整備等を行った。	妙見・安楽の各温泉振興会へ街並みづくり(花の植栽)に係る補助金を交付し、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号線沿いに花を植栽し景観を向上させることにより、観光客へ「観光地霧島」というイメージを持ってもらうことに努めた。

事務事業 コード	03030301	事務 事業名	安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事 業	担当部 担当課	商工観光部 観光課
-------------	----------	-----------	------------------------	------------	--------------

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ ■ 結びついている □ 間接的に結びついている □ 結びついていない	妙見・安楽地区の景観が向上することは、来訪者をもてなす受け皿をつくることにつながるため結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ ■ 妥当である □ 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はある程度ある ■ 向上する余地はほとんどない	花の植栽面積は限度があり、拡大、縮小の余地はない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ ■ 影響がある □ 影響がほとんどない	補助金が廃止・休止になれば、花の植栽面積減少し、景観も低下する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) ■ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 妙見・安楽への観光客誘致促進のための補助事業はあるが、目的が異なるため、統合することはできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ □ 削減できない ■ 削減できる	最低限の予算で花を植栽しており削減余地はない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	通り会も自主財源を投資しており、街並み全体がきれいになるので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○				○			
(2) 平成26年度の改革改善の内容	和気公園までのモミジ街道づくりや和気神社・犬飼の滝周辺の看板外灯管理、龍馬ハネムーンウォークや九州オルレ歩道の下刈り整備を行うことで、同地区を訪れる観光客に対して美しい景観を提供し、観光客の満足度アップに努める。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	妙見・安楽の各温泉振興会へ街並みづくり(花の植栽)に係る補助金を交付し、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号線沿いに花を植栽し、観光客の満足度及び「観光地霧島」のイメージの向上を図っていく。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									





1. 基本情報											
事務事業コード	03030303	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興				グループ	観光地づくりG				
基本事業名	03	観光客の受入体制充実				電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 19 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	特になし			
	項	01 商工費						関連計画 霧島市観光基本計画			
	目	04 観光費						事務の区分 自治事務(法令で義務付けられていない事務)			
事務種別	一般事務				裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

観光客の方により思い出深く、充実した旅行を提供できるように観光客からの申込を受け、案内可能な観光ボランティアガイド『しっちょいどん』の手配をする。  
 旅行中、地域の方々と『しっちょいどん』を通して触れ合うことで、霧島の「おもてなし」を体感していただき、リピーター増加につながるようにする。  
 また、より質の高い「おもてなし」を提供できるよう、定期的に『しっちょいどん』の研修を開催する。

【ボランティアガイド数】22名  
 【ボランティア料金】お客様お1人につき300円。  
 【ガイドコース】①霧島神宮コース、②和気公園・犬飼滝コース、③日当山コース

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア ボランティアガイド養成研修の開催回数	回	5	3	1	2	3
イ ガイドを行った回数	回	21	41	43	50	50
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 観光客	観光統計	万人	673	737	772	1,000	1,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア ボランティアガイドを利用してもらう	ボランティアガイドを利用した観光客数	人	195	293	702	800	800
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)  
 大河ドラマ「篤姫」の放映が決定され、県内の観光地では篤姫に関する史跡を巡る観光ツアーが増えてきたが、史跡めぐりの際にまちあるきの案内をするガイドは必要であり、平成19年度より本市でも取り組みを開始した。近年の旅行形態は単なる物見遊山的なものでなく、体験型が主流になっている。ボランティアガイドと一緒に実際にまちを歩き、テーマに沿った説明を聞き、そのものを見ると同時に住民とのふれあいもあることから、利用者のニーズに合った旅行形態であると考えられる。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		38	22	42
		事業費	千円		0	38	22

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

<p>個人向けの観光客にターゲットを絞らず、バスツアーなど団体に対して積極的に観光ボランティアガイドを紹介。</p> <p>また、丁寧な説明や接客ができていないか客観的に判断し、実際のガイドに生かせるよう他のボランティアガイド団体と合同で研修を行う。(始良市のガイドクラブより9名の方を講師として、研修を行う。)</p>	<p>個人の観光客だけでなく、バスツアーで観光ボランティアガイドを利用する旅行会社が増え、利用者が前年度より飛躍的に増加した。43件の申込中21件が旅行会社のツアーでの申込。(ツアー企画旅行会社: クラブツーリズム、JA鹿本旅行センター、JTB、近畿日本ツーリスト 計4団体)</p>
--	--

事務事業コード	03030303	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に市内の観光地点を低価格で案内する観光ボランティアガイドを利用してもらうことによって、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びついている。 また、観光客の意向に沿ってガイドのコースや時間を柔軟に対応することができ、他にはない観光ガイドを提供できることで、市独自の観光PRにつながる。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客を受け入れる体制を整備するということは市の責務であり、妥当である。受け入れ体制を整えることで、観光客の増加につながり、更には観光地周辺の経済効果が高められる。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現在、観光ボランティアガイドは22名登録があるが、高齢化が進んでいる。また、急ぎょガイドの申込なども多々あり対応できるガイドに偏りが生じている。これらを改善し、安定してガイドの提供を観光客に提供するためにもボランティアガイド登録を増加させる必要がある。特に徐々にバスツアーの団体客による利用が増えてきているので、団体客に対応できるだけのガイド人数を養成するなど向上の余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光ボランティアガイドの案内コースの一つであり、一番需用のある『霧島神宮コース』は他にガイドをしている団体がない。旅行者や旅行代理店等からの申込の多さを考慮すれば、今の時点で廃止することは観光客の減少を招き、観光地「霧島市」としてのイメージダウンにつながる恐れがある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 霧島市シルバー観光ガイド
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	ボランティアの協力による事業であり、時間や人数を問わず一律の値段でガイドを引き受けており、最小の事業費しか投入していない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	ボランティアガイドの運営は市の職員が行っており、霧島市観光協会への委託、又は霧島市シルバー人材センターの観光ボランティアガイドへの統合ができれば、職員の業務時間等を削減できる。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ガイドの手配は、常に申込順に行っており、料金も一律お一人様300円と低額である。よって、観光客への公平・公正さは確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○						
(2) 平成26年度の改革改善の内容	観光ボランティアガイドの研修を通して、観光ボランティアへの関心を高め、高齢化になりつつあるボランティアガイドの育成を図る。これにより、より多くの観光客に対してガイドを提供できるようにする。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	霧島市シルバー人材センターのシルバー観光ガイドとの連携を模索し、観光ボランティアガイドの高齢化などの対策をとる。また、観光協会などにもガイドの研修に参加してもらい、トレッキングガイドなど他のガイドクラブとの連携を視野にいれる。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									



1. 基本情報											
事務事業コード	03030203	事務事業名	ハネムーンウォーク実行委員会活動支援事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり	担当課	観光課							
施策名	03	観光業の振興	グループ	観光地づくりG							
基本事業名	02	地域の特色を活かした観光資源の開発	電話番号	45-5111							
			内線番号	2615							
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 9 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	なし			
	項	01 商工費						霧島市観光基本計画			
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会に龍馬ハネムーンウォークin霧島の運営補助として補助金を交付している。  
 (市の活動) 補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行い、同実行委員会のメンバーにも参画している。  
 (同実行委員会の活動) 龍馬ハネムーンウォークin霧島の開催(参加者の募集・当日の運営など)  
 ※同実行委員会は、霧島の自然や歴史を楽しむ事を目的に開催している龍馬ハネムーンウォークin霧島運営を行う団体。郵便局や市内業者を会員として運営されている。  
 開催時期: 3月中旬の土日(2日間)  
 参加料: [事前申込み] 一般1,800円、中・高校生900円、小学生以下400円  
 [当日申込み] 一般2,000円、中・高校生1,000円、小学生以下500円  
 コース: 霧島温泉、大鍋・中津川、花はきりしま菜の花、隼人・天降川の4コース  
 イベントの周知方法: 南日本放送を通じての参加者募集、前年度の事前申込者への申込書の送付

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 事前申込者数	人	1,876	1,593	2,042	2,000	2,100
イ 当日参加者数	人	594	1,617	1,166	1,400	1,400
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア ハネムーンウォーク参加申込者	ハネムーンウォーク参加申込者数(事前申込+当日参加者)	人	2,470	3,210	3,208	3,400	3,500
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 龍馬ハネムーンウォークに参加することにより、霧島市を歩きながら知ってもらおう	ハネムーンウォーク参加者数(実人数)	人	2,360	3,010	2,860	3,200	3,300
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつつか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 観光に活用できる資源が開発される	開発された観光資源の数	本	24	29	35	35	40
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

1866年土佐の坂本龍馬と妻のお龍が日本で最初の新婚旅行に訪れた地、霧島を現代の龍馬とお龍になって歩き、霧島の自然や歴史を楽しむことを目的に平成9年から開催された。平成19年度から、霧島地区の「花はきりしま菜の花コース」と隼人地区の「隼人・天降川コース」が追加された。平成20・21年度は実行委員会の事務局を担う団体がおらず、市で実行委員会の事務局を担った。平成24年度より市観光協会が事務局を担っている。

4. 事業費の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
		国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			2,000	2,600	2,000
	事業費	千円		0	2,000	2,600	2,000	2,000

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

平成25年度は事前申込の申込期日を延長し、参加料の確保をはかった。  
 事前申込者数: 2,042人  
 例年、参加者へのコース上でのおもてなし強化と参加者への特典を増やし、実行委員会へ企業等を取組み、スポンサーを募り採用したり、商店街等からの協賛の徴収を積極的に行った。  
 協賛金: 581,000円

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

実行委員会へ企業等を取り込み、スポンサーを募り採用したり、商店街等からの寄付の徴収を積極的に行ったが、なかなか協賛金をのぼすことはできなかった。  
 ただし、事前申込の申込期日を延長することにより事前申し込みに限り前回大会よりも約300人の参加者増となった。





1. 基本情報										
事務事業コード	03030109	事務事業名	観光客誘客事業				担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課			
施策名	03	観光業の振興				グループ	観光PRG			
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開				電話番号	45-5111			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )			
	款	07 商工費					根拠法令・条例等			
	項	01 商工費								
	目	04 観光費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	霧島市観光基本計画			
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本事業は、霧島市内の観光関係組織で構成され、本市への誘客促進と地域経済の発展を目的に活動を展開している「いざ霧島キャンペーン実行委員会」への事業補助金を支出している。  
 同実行委員会は、事務局を市観光協会と市観光課で担い、平成22年度の口蹄疫からの復興を目的に設立され、これまで新燃岳噴火に伴う風評被害対策や九州新幹線全線開業効果の拡大事業などを大きな事業に掲げ実施してきた。中でも、10月運行された「ななつ星」に係る歓迎事業や指宿との広域連携、各駅活性化団体との連携等を行い、本市における観光の旗振り役として大きく貢献している。  
 また、本市を来訪する観光客の満足度を高め、再訪に繋げるために、観光業従事者の「おもてなし」意識の向上にも繋げる事業を実施している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	数	248	252	250	260	270
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 経済的に豊かにする	観光客数(宿泊+日帰り)	人	6,733,375	7,367,062	7,715,418	7,750,000	7,800,000
イ 経済的に豊かにする	観光客数(宿泊+日帰り)×観光客1人当りの消費額	百万円	50,229	52,021	56,973	56,980	56,990
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう	国内からの宿泊観光客数	人	861,060	966,141	947,019	997,000	1,017,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成22年4月に宮崎県で発生した口蹄疫からの復興を目的に「いざ霧島! 100万人キャンペーン実行委員会」への事業補助金として開始された。開始時期は口蹄疫からの復興や新燃岳の風評被害対策など、災害復興を目的に事業展開していたが、平成23年度～平成24年度は九州新幹線開業の効果拡大事業等を実施し、本市への誘客促進と地域経済の活性化を目的に事業展開している。 平成25年度は、JR九州豪華寝台列車「ななつ星in九州」の運行にあわせ、地域と連携しおもてなしに努めている。	4. 事業費の推移							
	投入量	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
	事業費	財源内訳	千円		0	0	0	0
		国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
一般財源	千円		6,500	6,059	6,500	6,500		
事業費	千円		0	6,500	6,059	6,500	6,500	

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

指宿市、霧島市への誘客を促進するために、広域連携による効果的な誘客キャンペーンを展開し、両地区観光客の増加を目的に、指宿と霧島が対決するという話題性や明確な切り口により、県内外のマスコミ、メディア等による本県露出向上が図れ、県内の観光客が増加し、県内各地の経済活性化に繋がった。  
 活性化団体活動支援事業は、昨年度に引き続き、各活性化団体の連携により、肥薩線沿いの花いっぱい彩り、また、トイレ清掃や高校生によるおもてなしで観光客を迎える体制を整えた。  
 そのほかJR九州タイアップ事業、10月から運行された「ななつ星」に係るクルーズトレイン 歓迎事業、霧島湯めぐり旅マップの増刷を行った。

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

平成24年度に引き続き、指宿と霧島が連携し素材説明会への参加、小倉駅でのキャンペーンなど鹿児島県内、九州、関西等のマスコミ、メディア等による本県露出向上が図れ、鹿児島県内の観光客が増加し、県内各地の経済活性化に繋がった。  
 各活性化団体の連携により、おもてなしで観光客を迎える体制を整えた。







<b>1. 基本情報</b>											
事務事業コード	03030201	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業				担当部	商工観光部			
						担当課	観光課				
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				グループ	観光地づくりG				
施策名	03	観光業の振興				電話番号	45-5111				
基本事業名	02	地域の特色を活かした観光資源の開発				内線番号	2614				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 8 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱			
	項	01 商工費									
	目	04 観光費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画	霧島市観光基本計画				
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会に補助金を交付し、同実行委員会が行うスポーツ団体誘致活動を支援している。また、市は同実行委員会の事務局も担っている。  
 (市の活動)同実行委員会に補助金を支出するための手続きを行う。  
 (実行委員会の活動)団体誘致のためのセールス活動(5月、10月、12月)、歓迎レセプションの実施(年間)、誘致団体との連絡調整(年間)。  
 ※霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会とは、H8年よりリーグをはじめとする各種スポーツ団体の合宿等を霧島市に誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した団体である。  
 【平成25年度招致実績】  
 サンフレッチェ広島、京都サンガF.C.、FCソウル、太陽誘電、NTTコミュニケーションズラグビー部、かずさマジック、ホンダエン지니어リングソフトボール部、青森大学野球部、北九州市立大学弓道部、九州大学女子テニス部、日本文理高校野球部、聖光学院高校野球部、九州産業高校サッカー部、トリアスロン 計14団体

<b>① 活動指標</b> (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	誘致活動回数	回	4	5	3	3	3
イ	キャンプをPRLした日数	日	25	27	25	25	25
ウ							

(2) 事務事業の目的

<b>② 対象</b> (誰、何を対象にしているのか)		<b>③ 対象指標</b> (左記②対象の大きさを表す指標)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	プロ・アマチュアのスポーツ団体	現在誘致活動を行っている団体数		団体	8	12	14	15	15
イ	旅行エージェント	PRを行ったエージェント数		社	1	3	4	4	4
ウ									
<b>④ 意図</b> (②対象をどうしたいのか)		<b>⑤ 成果指標</b> (左記④意図の達成度を表す指標)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	霧島市でキャンプを行ってもらう	キャンプを行った団体(全体)		団体	9	12	14	16	17
イ	情報提供をしってもらう	キャンプを行った団体(新規)		団体	5	6	8	9	10
ウ									

(3) 上位の基本事業

<b>⑥ 基本事業の意図</b> (さらにどのような成果に結びつのか)		<b>⑦ 基本事業の成果指標</b> (左記⑥意図の達成度を表す指標)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	観光に活用できる資源が開発される。	開発された観光資源の数		本	24	29	35	35	40
イ									
ウ									

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成25年度に発足したリーグを誘致するため平成28年度からリーグチームをはじめとするプロ・アマチュアのスポーツ団体を誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した。本市でキャンプを行うスポーツ団体はプロ・アマともに年々増加し続けている。ただし、施設は限りがあり希望通りの日程がとれず本市でのキャンプを断念する団体もある。議会ならびに誘致団体からはスポーツ施設のより一層の充実が望まれている。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		1,700	2,200	2,200
		事業費	千円	0	1,700	2,200	2,200

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

関東・中部地区への誘致セールスや県主催の団体誘致セミナー(福岡、韓国)の参加などにより団体の誘致に成功した。  
 【継続団体】サンフレッチェ広島、京都サンガF.C.、FCソウル、太陽誘電女子ソフトボール部、新日鐵住金かずさマジック、北九州大学弓道部(計6団体)  
 【新規団体】NTTコミュニケーションズラグビー部、ホンダエン지니어リングソフトボール部、トヨタ車体・日本食研トリアスロン部、九州産業高校サッカー部、青森大学野球部、日本文理高校野球部、聖光学院高校野球部、九州大学女子テニス部(計8団体)  
 【平成26年度合宿実績】  
 合宿誘致団体 14団体 合宿に伴う宿泊総数 3,390泊  
 大会誘致団体 25団体 大会に伴う宿泊総数 3,071泊  
 合宿及び大会に伴う宿泊総数 6,461泊

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

平成25年度はラグビー、野球団体など新規団体の誘致に成功し、キャンプ誘致に伴う観光客増加に寄与することができた。

事務事業コード	03030201	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	プロ・アマチュアのスポーツ団体に霧島市でキャンプを行ってもらうことや旅行エージェントに霧島市についての情報提供を各種団体にに対してもらうことで間接的に観光に活用できる資源が開発されている。
	② この事業をなせば市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の目的のひとつに市の施設の有効活用も含まれており、市が事業をすることが妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市HPやスポーツ専門誌への霧島市の情報掲載、誘致セールスの取組などを他の事業と連携し、従来とは異なる地区、年齢層への周知の取り組みなど向上余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	同実行委員会が行っている誘致・歓迎にあたって連絡・調整・実施に関する各種事務を廃止すれば、スポーツ団体の誘致がなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	平成25年度より宿泊施設に対して一定の負担金を求め事業費に充てているものの、県内他の市町村に比べて事業費が潤沢にあるとは言えず、事業費の削減は事業の運営に支障をきたすことが考えられる。 ※H26、4現在 霧島市合宿助成金1団体上限2万円 鹿児島市50万円 指宿市・鹿屋市10万円
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在2名の必要最小限の職員数で事務を行っており削減余地はない。また、他の団体に事業を移管した場合は委託料として人件費に当たる相応の金額を支出しなくてはならず事業委託の選択肢が有効でない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	一部のスポーツ団体や旅行エージェントに限定した事業ではないため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○						
(2) 平成26年度の改革改善の内容	サッカー、野球などの一部競技の練習施設は飽和状態にありこれ以上の団体数増加は難しい状況にあるが、屋内スポーツを含むその他のスポーツ団体に対して平成26年度も引き続き誘致歓迎業務を実施する。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	市内の宿泊数増加という協会の目標のために誘致活動を続けていくことはもちろん、キャンプ自体が成功するように関係機関と協力していく。また、助成制度なども活用し既存グラウンドの冬芝対応や人工芝グラウンドへの移行などの可能性について検討する								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									



1. 基本情報											
事務事業コード	03030309	事務事業名	道の駅管理運営事業				担当部	商工観光部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興				グループ	観光地づくりG				
基本事業名	03	観光客の受入体制充実				電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 6 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	07 商工費					根拠法令・条例等	「道の駅」登録・案内要綱			
	項	01 商工費						関連計画 特になし			
	目	05 施設管理費						事務の区分 自治事務(法令で義務付けられていない事務)			
事務種別	一般事務				裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)  
 道の駅「霧島」は、霧島市霧島田口字霧島山2583-8に位置し、霧島錦江湾国立公園の霧島地区を周回している国道223号に面しており、標高500mほどの高台にある。駐車場、野外トイレ、遊歩道及び人口滝を有する道の駅の維持管理運営を委託している。  
 【委託先】神話の里公園株式会社  
 【委託料】2,400,000円  
 【委託業務内容】施設の維持管理及び施設周辺の清掃 九州・沖縄道の駅連絡会議・イベント等への参加、維持管理をする上で必要な会計事務

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 開館日数	日	365	365	365	365	365
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 道の駅利用者	道の駅利用者数	人	199,061	350,287	397,818	400,000	400,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 整備・清掃が整った施設を安心して利用できる。	道の駅に関する要望件数	件	1	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	16	14	16	13	12
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)							
国土交通省より、国道223号の道の駅として平成6年4月26日に登録、指定された。道の駅の休憩ステーション及び情報発信拠点施設として定着してきている。宮崎、鹿児島を結ぶ主要道の県境周辺に設置されていることで、トイレや昼食等ができることで喜ばれている。							

4. 事業費の推移								
		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		2,400	2,400	2,469	2,616
		事業費	千円	0	2,400	2,400	2,469	2,616

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
浄化槽修繕等を行い、道の駅の利用者が快適に道の駅を利用できるようにした。	定期的な施設の修繕を行い、利用客が気持ちよく利用できるように努めた。結果、利用客数が前年実績より47,531人増の397,818人と、年間利用客が40万人を達成できそうな実績を上げた。

事務事業 コード	03030309	事務 事業名	道の駅管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	道の駅利用者が整備・清掃が整った施設を安心して利用でき、来訪者をもてなす受け皿となっている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、霧島市を訪れる観光客の利用する施設を整備する必要があり妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設は、現状においても定期的に点検、整備、清掃されているが、維持管理等は常に迅速な対応なども追及すべきであり、向上の余地があるといえる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	利用客が安心して施設を利用できるように、徹底した維持管理をすることは重要であり、維持管理の行き届かない施設があることは霧島市のイメージダウンに繋がるため廃止・休止の影響がある。
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 道の駅の維持管理をする事業は他にはない。
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は、委託料の支払い事務のみであり、削減余地はない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は、委託料の支払い事務のみであり、削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	トイレや道路情報の案内など24時間誰でも利用できることが「道の駅」登録・案内要綱に基づく、道の駅の条件であり公平・公正さは確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	指定管理者と密な連絡をとりながら、適宜修繕等を行い、利用者のニーズにある施設づくりを行う。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	事業を継続して行き、利用者増につながるような修繕等を行うため、利用者アンケートの導入などを検討する。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

